

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
1	19	1	「食育ひろば ほっと村」	「食育ひろば ほっと村」	子育て親子を対象に食育の重要性を伝え、安全な食の提供と食農体験から子供たちの健全な成長の場づくりをする。	・食育ひろば ほっと村の運営 ・食、農、くらしをテーマにした講座の企画、運営、実施。 ・地域の子育て情報の受発信。 ・他団体と連携し、食育に関するイベントを実施	500,000
2	19	2	まちづくり応援コンテンツ制作特派員養成ワークショップの実施	北区地域情報化推進協議会	地域での情報格差が拡大する中、地域住民自らが情報コンテンツの政策に加わり情報発信することで、住民間での課題共有、総合コミュニケーションの活発化により北区のまちづくりに資する情報発信を行うための人材育成を推進する。	・まちづくりコンテンツ制作ワークショップの実施 ・情報発信 北ケーブル、インターネット、まちづくりブログなど	500,000
3	19	3	北区さわやかポニークラブ	北区さわやかポニークラブ	障害者乗馬の定期乗馬会を行う	・北区さわやかポニークラブが行う定期乗馬会で障害者乗馬用の馬を賃借し実施する。 ・また、障害者乗馬会の実施に必要な指導員を置く。	500,000
4	19	4	遊びのボランティア養成講座事業	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	プレーパークを作るボランティアスタッフなどの技能、意識の向上を目指し、仲間づくりをすすめる。	・当団体が定期的を開催する「一日プレーパーク」に関わっているボランティアスタッフ及び関心ある人たちのための公開連続講座の開催。 ・外部のプレーリーダーを講師として招き、プレーパーク開催のための技術等を改めて学ぶ。	446,000
5	19	5	太極拳による北区民の健康づくり	飛鳥山 太極拳 愛好会	・介護予防のために北区民に太極拳参加者を募集する。 ・将来的には、北区が太極拳の町宣言を行う仕組みづくりを行う。	・飛鳥山太極拳愛好会のメンバーを増加 ・各老人クラブ、医療機関、消防署に指導者を派遣して太極拳を広める。 ・北区の行事に積極的に参加 ・関係行政機関への働きかけ	54,000
6	19	6	第4回TOKYO北区ふるさと駅弁コンテストおよび応募作品集の作成	TOKYO北区ふるさと駅弁コンテスト実行委員会	・駅弁コンテストを通じて、北区の魅力を知るきっかけを作る。 ・にんじんを必ず使用する食材にすることにより食への関心を高め、食育に貢献する。 ・北区をイメージした応募作品集を作成することにより、より広く、多面的に通年を通じて北区の魅力をPRする。	・北区にちなんだ人・行事・歴史・自然などをイメージした駅弁を募集する。「にんじん」を必ず使用する食材と設定して募集を行う。 ・応募作品をデータ化し、北区の魅力別に分類した作品集を作成する。 ・コンテスト大賞作品を商品化し、記念販売を行う。	500,000
7	20	1	「グリム童話の魅力と昔話」展示	特定非営利活動アドリブ	・グリム童話の展示により本当のグリムの魅力を学ぶ。 ・昔話の世界から「生きる力」を得る。 ・親子で共通のテーマを体験し、親子のコミュニケーションを高める。	・グリム絵本の展示。 ・昔話の魅力をテーマにしたパネルの制作展示。 ・おはなし会、ブックトークの企画、運営、実施。 ・グッズ販売。 ・情報発信（北ケーブル、インターネット、まちづくりブログ等）。 ・関係行政機関への働きかけ。	100,000
8	20	2	輪を広げよう、北区の音訳ボランティア	音訳グループ ”やまびこ”	情報弱者と言われる視覚障害者に、印刷物などを読むボランティアの拡大を目指して、音訳講習会を実施する。	10回の講習会を実施し、次の内容の習得を目指す。 ・視覚障害者の理解促進と音訳者の必要性を知ってもらう。 ・印刷物などを正しくわかりやすく音声表現する方法を習得する。 ・録音技術の基礎を学ぶ。	285,000
9	20	3	都市生活と農の交流・体験事業	ほっと村	畑づくりを通じて「農」を理解し、また、自分達の生活に結びつけていくことで、これからの「食」と「農」と「暮らしかた」を考えていく。	・甘楽「ふるさと農園」での農体験、畑・台所作業の多世代共有、収穫した旬野菜でつくる「もったいない料理」と「伝統食」の伝承。 ・学校給食残さい資源リサイクルの現場見学から親子で循環型社会の形成を学ぶ。 ・地元の農協婦人部との交流。 ・夏季の畑草取りボランティアの募集と計画 ・ブログでの活動報告と年間の事業報告書作成	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
10	20	4	北区プレーパーク基盤強化事業	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	子ども達が屋外で、土、水、火、木などの自然の素材を使って、自由に思い切り遊べる場「プレーパーク」を安定的に開催する。 ・開催時の遊びの質向上と、安全確保、人々のつながりを目指す。 ・安定開催のためのスタッフの技能向上。 ・広報活動の強化。	・区立中央公園で月に一度の「一日プレーパーク」の開催ならびに区立桐ヶ丘中央公園で2カ月に一度の「一日プレーパーク」の開催。 ・ブレースタッフならびに運営スタッフの技能向上のため、経験豊富なプレーリーダーを講師として招聘する。 ・新宿区「戸山プレーパーク」の現地見学に行き、事例研究・意見交換を行い、今後の活動に活かす。 ・年3回の広報誌を発行し、区内各所に配布する。ホームページ	500,000
11	20	5	第5回TOKYO北区ふるさと駅弁コンテスト及び新・北区名物を作ろうプロジェクト	TOKYO北区ふるさと駅弁コンテスト実行委員会	・北区にちなんだ人物、行事、出来事、歴史、自然等をイメージした「駅弁」及び「新名物」を創作することにより、北区の魅力を知らせ、きっかけを作る。 ・北区の魅力を「コンテスト」及び「新・北区名物」のPR活動、記念販売を通して情報発信し、より広く、より多面的にPRする。	・第5回目にあたる「コンテスト」では、将来のまちづくりの担い手である、18歳以下の子どもたちを対象として募集する。 ・「新・北区名物を作ろうプロジェクト」に参加する希望者、団体、企業を募集し、「新・北区名物」を制作する。 ・コンテスト大賞作品及び「新・北区名物」を商品化し販売する。	500,000
12	20	6	北区さわやかポニークラブ	北区さわやかポニークラブ	乗馬が持つ療養効果により、障害の機能向上や回復を目指す。	・概ね月1回、障害者乗馬用の馬を賃借し、北区中央公園にて乗馬会を開催する。 ・障害者乗馬会の実施に必要なボランティア、指導員を置く。	500,000
13	20	7	滝野川地域で子育てをする会「玉手箱」	滝野川地域で子育てをする会「玉手箱」	子どもを中心に人と人がつながり豊かな人間関係を築き、子育ては親とともに地域で行っていかうという意識を町の人々に喚起し活動を広げる。	・小学生が放課後遊べる場をつくり、情操を育て将来に夢や希望を持った子ども達を増やしていく。 ・子どもと地域をつなげるイベント「まち遊び”忍者修行”」、「セプテンバーコンサート」の開催。	500,000
14	20	8	「東田端」PR大作戦	東田端まちづくり協議会	魅力ある東田端を積極的にPRすることで、「住みたいまち」、「住み続けたいまち」として注目され、活力あるまちづくりを実現することを目的とする。	・まちの魅力をアピールするため、東田端の町会・自治会、地区委員会、日赤奉仕団、小学校、まちづくり協議会、他の日常活動、さらに名所、地場産業、お店の紹介等地域の情報を収録。 ・「これを見れば東田端がわかる」ガイドブックのビデオ版を製作する。 ・ホームページを利用し、積極的に東田端のまちを発信していく。	500,000
15	20	9	まちで「ひざ楽」わいわいプロジェクト	赤羽大江戸舞祭実行委員会	異世代交流を交えて推進することで、区民の健康で明るいからだづくりを目指す。	・特に弱りやすい足(膝)に焦点をあて、膝のためにより体操やその動きをアレンジしたダンスを習得し、紹介や若い世代と共に体験することにより、区民の生き生きとした生活(身体の健康)に寄与し、同時に世代間交流による地域づくり(心の健康)を目指すための素地を作り、人材を育てる。	500,000
16	20	10	コミュニティ・チャンネル番組制作講座	北区地域情報化推進協議会	子育て支援、商店街、健康、福祉、教育など、地域に密着した情報や地域課題の解決に向けた取組について、住民自らが取材や情報コンテンツの制作に携わり、情報発信することで、住民間での課題の共有や相互のコミュニケーションを活性化させることができ、北区のまちづくりに資する情報発信を行うための人材育成を推進する。	・コミュニティ番組「こそだて DE きた」の制作・放映に向けた番組づくりの基礎講座、番組制作。 ・北ケーブルテレビ9チャンネルでの放送を通じた情報発信。	500,000
17	20	11	高齢者の知識の向上と、地域のひきこもり者の社会参加への応援事業	滝野川六七会	・時代の変化に対応できるよう、高齢者の知識の向上と引きこもり者の社会参加と健康保持を図る。 ・定例会を開放し、区内の同種団体との交流を図る。	・その時々にかかる社会現象を主なテーマとして講師を招き、健康講座などを実施。	200,000
18	21	1	北区さわやかポニークラブの定期乗馬会	北区さわやかポニークラブ	乗馬を楽しみながら、乗馬を通じて身体的、心理的なりハビリを目指す。	北区さわやかポニークラブが行う定期乗馬会で障がい者乗馬用の馬を賃借し実施する。 また、障がい者乗馬会の実施に 必須な指導員を置く。	500,000
19	21	2	地域っ子事業	「滝野川」地域で子育てをする会玉手箱	地域に住む子どもや地域に関係している子どもを地域っ子と定義し、地域に住む大人が昔ながらの遊びや知識、自分の特技を伝えることを通して、子どもの情操を育み、人の温かさを伝えていく。	①放課後の子どもの居場所を運営 ②外遊びの充実 ③地域と子どもをつなげる事業の実施 ④未就学児とお母さんの居場所	500,000
20	21	3	寸劇(北区イザコ座)を通しての啓発活動の更なる充実と発展	アゼリア会	北区イザコ座での寸劇を通し、地域社会の様々な問題を提起し、解決に向け共に考え、誰でもが生きいきと暮らせる地域社会の推進をめざす。	①身近な課題をテーマにした寸劇による啓発活動 ②イザコ座台本の作成・編集・保存 ③ビデオの作成	300,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
21	21	4	シェモアふれあい講座 & おしゃべりかふえ	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	十条地域における、元気高齢者・若者・子育てママなどを対象にした、講座の開催や場の提供によるコミュニティの活性化を目指す。	①高齢者向け情報提供講座「老後もいきいき安心塾」開催(全10回) 内容:携帯電話達人、PC、介護予防、折り紙、編み物、絵手紙、手芸、園芸、太極拳等 ②健康料理教室「シェモア☆おいしい講座」開催(全10回) 内容:レンジの達人、アレルギー食、簡単手作りおやつ、簡単離乳食、男の料理、減塩食、漬物、味噌作り等	500,000
	21		北区新名物プロジェクト「きたく汁の会」	北区新名物プロジェクト「きたく汁の会」	北区の新名物を創作することで、北区の魅力を知るきっかけを作る。 新名物のPR活動、記念販売を通して発信する。 より広く、より多面的に通年を通して北区の魅力をPRする。	①食育への啓蒙 新名物の食材を、学校で栽培、収穫し、植物の成長、収穫、食べる喜びを子どもたちに知ってもらう。家庭においても親子で一緒に作れる料理として、食育と親子のコミュニケーションを図る。 ②地域の飲食店の活性化 メニューの一つに取り入れてもらい、北区の飲食店でのみ食べられるという話題性で、地域全体を盛り上げる。 ③企業とのタイアップ 地域限定品として商品化し、北区そのもののブランディング効果を高める。	-
22	21	5	食育からまちづくりへ～ママたちの参画・おやつを切り口に～	ほっと村	子ども、特に乳幼児期の食育の主体者である母親たちの関心の高い「おやつ」を通して、食の大切さ、素材の素晴らしさを探究、試作。 作ったものを地域から評価を得、食育を通じた地域への還元、子育て主体者のまちづくり参画の起爆剤とする。	①食育おやつ研究会 おやつづくりの講習会と試食会(全20回) ・栄養学、食物歴史学、日本食文化専門の領域から講習会を企画実施 ・おやつ作りの試作会を企画実施 ②赤ちゃん八百屋 食育のまちづくり活動 ・チームの開発したおやつを制作、販売 ③事業全体のブログ・HPを活用した広報と報告	500,000
23	21	6	語りの世界への誘い～心豊かな大人をあたためる語りを、まちの日常に～	おはなし夢夢 夢企画	世代を超えて語りの魅力・奥深さを広め、愛好者を増やすことにより大人の心をあたため、子どもや弱い立場の人たちに向けるまなざしを寛容で優しいものとするきっかけを作る。	①語りのプロムナード～音楽と共に～ 旧古河庭園等の建物を借り上げ、各室でさまざまなジャンルの語りを音楽とのコラボレーション等で開催する。併せて語りの実践者・愛好者等の交流・研鑽の場を設ける。 方言語りの部屋、公募の語り手たちのよる語り場、詩の部屋、交流室等を設け、語りのミニ祭典とする。 ②作って遊ぼうワークショップ 子育て中の人たちを対象に、家で遊べる手袋人形やパネルシアターの製作から遊び方、実演までを保育付きで講習	500,000
24	22	1	今こそ創ろう 子どもが豊かに育つまち～子育て・子どもに関する活動団体大集合！～	北区子ども感動コミュニティ機構	子育て・子どもに関する活動団体のネットワーク化と恒常的な交流やスキルアップを図ることにより、子どもが育つまちの物理的・人的・文化的環境整備を目指す。	①交流会の開催 子どもに関する活動団体に特化してフォーラムを開催し、交流と学びによるスキルアップ、財政の安定化を目指して連携する。 ②団体の共通情報誌とサイト作成準備 紙媒体とインターネット両方を整備することで子どもに関する情報を受発信しやすくする。	200,000
25	22	2	出張一時保育事業および手づくりおもちゃ講習会の開催	親子支援グループ そらいろの種	子を持つ親が仕事や社会参加活動などを安心して行うことができるようにするため出張一時保育サービスを提供する。 高齢者及び親子が、おもちゃづくりを通して世代間交流を深める。	①出張一時保育サービス 依頼者の自宅やスタッフの自宅で預かる一時保育やイベント等の会場に出張して一時保育を実施する。 ②講座の開催 手づくりおもちゃ講座を開催する。	200,000
26	22	3	FM波を使った地域内情報伝達手段の確立	志茂まちづくり協議会	災害時に地域の状況や行政からの連絡をスムーズに伝達するために、FMラジオで受信できる「放送」を住民自身が配信できるための学習と試験放送を行い、地域内での共通認識とするための告知活動を実施する。	①講座の開催 既に実際の放送をしている協議会から講師を招聘し、FM波を使った災害時の情報伝達方法を取得する講座を開催し、継続的な訓練を開始する。 ②操作学習会の開催 志茂子ども交流館で実機を用意して試験放送を行い、受信可能範囲を測定するなど、恒常的な運用体制を造る。	200,000
27	22	4	「飛鳥山薪能」青少年育成事業	飛鳥山薪能実行委員会	未来を担う青少年に日本の伝統文化である能楽を鑑賞する機会を与え、豊かな心を育成する。	区内の中高生を対象に「飛鳥山薪能」公演に招待することで、今まで能楽に触れたことのない中高生が気軽に鑑賞できるようにする。	200,000
28	22	5	「北区の平和をたどる」～戦跡めぐりと 講談師 神田香織さんの語り～	北区男女共同参画推進ネットワーク	北区に数多くの戦跡があることを確認して、北区をより深く知り、また命の大切さと次世代につながる平和な社会を望み、男女共同参画の大切さを再認識する。	①北区の戦跡めぐり 学芸員を講師に招き、北区や北区周辺の戦跡をバスで巡る。 ②講演会の開催 講談師の神田香織さんを講師に招き、北区の戦争の歴史と平和の大切さについての講演会を開催する。	300,000
29	22	6	子連れOK講座	特定非営利活動法人でんでん子ども応援隊	乳幼児を抱える母親が親子で参加することによって、コミュニケーションを深め、お互いの知恵を出し合うことによって地域の母親が心身ともに健やかに子育てを楽しめる環境をつくる。 また、講座の受講者が同時に講座の担い手になるよう運営することにより、子育て支援の輪を広げ、地域の自治力形成に寄与する。	乳幼児を育てている親子向けにからだと心のリフレッシュを目的に乳幼児連れで参加できる講座(親子ヨガ、ゴスペルワークショップ)の定期的開催と年1回の参加者交流会を実施する。 スタッフは前年度の講座参加者から募り、子育て中に地域で支えあう関係づくりを実践する。	500,000
30	22	7	花育・大作戦in東田端 ～更なる東田端地区の緑化推進を目指して～	東田端まちづくり協議会	区との「緑化推進モデル地区」、「美化ボランティア」の協定によりプランターの設置、花の植替え等の管理を行ってきた。 この活動を基にミニプランターの設置運動を展開し、地域住民・企業の協力を仰ぎ、更なる地域の緑化推進を図る。	東田端地域の住民・企業の協力のもと、道路から観賞できる私有地にミニプランター(500箇所)を設置、貸与し、日常管理を依頼する。 ミニプランターにステッカーを貼付し、事業のPRを図る。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
31	22	8	ことばでわかる駅情報作成事業	NPO法人ことばの道案内	ことばの説明による駅の構造と道案内を作成し提供することで、安全な駅利用となり、視覚障害者等の社会参加を促進する。	北区に関するJR11駅を調査対象として、駅の構内及びホームまでのことばによる説明を作成する。 ことばによる道案内のデジジー用CDを作成し、携帯でも利用できるようホームページに掲載する。	500,000
32	22	9	体験学習を通しての、発達障害児の苦手なソーシャル・スキルの向上	NPO法人クレセール心の相談室	発達障害児の将来に向けての社会参加能力を身につけさせる。 また、母親の子育てを支援する。	芋ほり、調理実習、和紙づくり、動物園見学、買い物などの体験学習や親子や年齢を超えた子どもたちとの合同レクリエーション、クリスマス会、お楽しみ会、誕生会等のイベントを実施する。	500,000
33	22	10	知的障害のある人びとやその周囲の人びとのための自立支援講座	特定非営利活動法人勉強レストランそうなんだ！！	知的障害のある人びとが自立して豊かな人生を送ることが出来るよう支援する。	知的障害を持ちながら就労している人やその周囲の人々を対象として自立支援講座を開催する。	500,000
34	22	11	地域っ子事業	「滝野川」地域で子育てをする会 玉手箱	地域に住む子どもや地域に関係している子どもを地域っ子と定義し、地域に住む大人との関わりを通じて、子どもの情操を育み、家庭的な雰囲気の中で人の温かさを伝えていく。	①放課後の子どもの居場所の運営。 ②地域と子どもをつなげる事業の実施。 ③未就学児とお母さんの居場所づくり。 ④地域に住む問題を抱えた家族の親や子どもの心のケア。 ⑤成果物の作成。	500,000
35	22	12	食育からまちづくりへ～赤ちゃん 八百屋ファシリテート事業	ほっと村	子育て・子育てが地域の信頼の輪の中で営めるようお願い、子育て・子育ての柱である「食育」を中心においた活動を主体的に取り組む人材の育成。	①子育て中の親が、買い物やカフェ利用など、一人でもふらっと立ち寄れるよう、ファシリテーターを配置した常設の集いの場をつくる。 ②「まかないランチ」を提供する。 ③地域の子育て・食育に関わる情報の受発信を実施する。 ④食育イベント企画に向け、民俗学・伝統食などの学習会を開催する。 ⑤食育まちづくりの観点からプロモーション商品の企画を検討する。	500,000
36	23	1	赤羽自然観察公園にホタルを	赤羽自然観察公園ビオトープの会	赤羽自然観察公園にある湧水池を生かし、ホタルが飛び交う公園をめざす。 公園が出来た時からの区民の願いを実現させる。	①ホタルの幼虫をカワニナが生育する湧水池に入れ育てる。並行して幼虫を会員のもとで飼育し、生育状態を双眼実体顕微鏡で観察し、いずれ環境展や秋祭りに成果を報告する。 ②ホタルに関しての専門家を招き、講演会を開き、区民にも興味関心を広げる。 ③ホタルの観察会を開く。 ④湧水池やトンボ池に生息する微生物等の継続観察を続ける。	200,000
37	23	2	定年男性の地域仲間づくり応援事業―「企業市民」から地域を肥やす市民へ―	参画ネット・ノースヴィレッジゆう	団塊の世代が、第二の定年を迎える時期にさしかかる。仕事中心の生活を送ってきた男性にとって、いよいよ課題となる地域での「自分の居場所探し」や「仲間づくり」が円滑に進むよう応援し、地域活性化につなげる。	定年男性が「昔体験した遊び」を掘り起こし「子どもと遊ぶこと」を通じて、コミュニケーション力を高め、仲間づくりのきっかけを生み出す。 ①予備学習を通じて核になるグループを作り、ワークショップや講座などを通して自分の遊びスキルを見直し、遊びについて学ぶ。 ②(仮称)「地域小父さん遊びフォーラム」を予備学習で核になったグループで企画・実施する。 ③事業実施後に成果や課題を振り返り次のステップに向かう。	200,000
38	23	3	出張一時保育事業および手づくりおもちゃ講習会の開催	親子支援グループ そらいろの種	子どもを持つ親が仕事や社会参加活動などを安心して行えるようにするため、出張一時保育サービスを実施する。 高齢者及び親子が、木育ひろばやおもちゃづくりをとおして世代間交流を行う。	①出張一時保育サービスとして、依頼者の自宅へ赴いての一時保育、スタッフの自宅で預かる一時保育、イベント等の会場に出張しての一時保育を実施する。 ②手づくりおもちゃ講座を開催する。 ③木のおもちゃを使った木育広場を開催する。	200,000
39	23	4	「演劇のまち北区」ネットワーク事業	北とびあ演劇祭実行委員会	世代を超えて多くの区民が演劇をコミュニケーションツールとしてふれあうことのできるネットワークを作り、演劇文化の発信を北区から行うとともに、地域コミュニティの活性化する。	北とびあ演劇祭に参加している劇団のメンバーを中心に、一般公募も含めての「演劇祭アフター劇団」を結成し、北とびあ演劇祭実行委員会が主体となって劇団運営・公演活動を行う。 北区民に向けて演劇の楽しさ・面白さをアピールしつつ、演劇ネットワークづくり、北区を文化豊かなまちとするための作品づくりに取り組む市民劇団の育成を行う。	200,000
40	23	5	北区に住む障害(児)者のニーズに対応できる人材の育成	特定非営利活動法人ピアネット北	北区に住む障害(児)者を対象にサービス提供を行っている事業所、またはこれからサービス提供を行う事業者のホームヘルパーを対象に実践的な研修及び情報提供を実施、質の高いサービス提供の実現を目指す。	①知的障害者への支援法を障害者本人、家族、施設職員から学ぶ研修会を実施する。 ②障害(児)者の自立をサポートする福祉用具(便利グッズ)を購入し、北区障害者福祉センター内の生活支援室に常設展示し、購入や使用法を伝える。	200,000
41	23	6	花育工場made in 東田端	東田端まちづくり協議会	この活動を定着させることで、今後長年継続して、地域に「花・みどりがあふれるまち」として、東田端の街を広く内外にPRしていく。	平成22年度は、地域内にプランター500基設置した。次のステップとして、苗床を作り自前でプランターに植える花苗を育成し、その後育った花苗は、街なかに設置されているプランターに植えかえる。	500,000
42	23	7	知的障害のある人々やその周囲の人々のための自立支援講座	特定非営利活動法人勉強レストランそうなんだ	知的障害を持つ人々が自立して豊かな人生を送ることができるよう支援する。	知的障害を持つ人々やその周囲の人々を対象として自立支援講座「やさしい法律入門」「マナー、性、結婚の講座」「就労の維持に向けた講座」を開催する。 平成22年度の参加者の反応を踏まえ、さらにきめ細かいニーズに応えられるようブラッシュアップする。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
43	23	8	食育からまちづくりへ～赤ちゃん 八百屋ファシリテート事業～	ほっと村	孤独化が問題になっている「育児当事者の社会参加」を日常に 欠かせない食をととした「持続可能な環境への学習」により促進す る。 この活動により、少子高齢化する厳しい社会の中で相互支援に よって成立しうる「地域のつながり」を形成する。	①子育て中の親が、買い物やカフェ利用など、一人でもふらっと立 ち寄れるようファシリテーターを配置した常設の集いの場をつくり、 北区の循環型有機野菜や東京都産品・北区の名品の紹介販売、 「子育てにつこりパスポート」によるティーサービスを実施する。 ②子育て・食育に関わる情報の受発信 ③NPO法人飛鳥会と協力し、茨城県イチゴ農家ツアーを実施す る。 ④まちづくりの観点から、近隣自治体などでのさまざまな取り組み を見学する。	500,000
44	23	9	発達障害児の苦手なコミュニ ケーション力向上を目指す体験 学習	特定非営利活動法人 クレセール心の相談室	発達障害児の将来に向けての社会参加能力をを身につけさせ る。 母親の子育て支援をする。	①動物園見学、イモ掘り、調理実習、キャンプ、鉄道博物館見学、 買い物といったバス移動による体験学習やレクなど様々な体験を 通じてコミュニケーションを図る。 ②親子や、年齢を超えた子どもたちのふれあい合同レクレーショ ンを実施する。 ③クリスマス会、お楽しみ会、誕生会などのイベントを実施する。	500,000
45	24	1	花育校房 滝四小からまちなか へ	東田端まちづくり協議会	種蒔きから生育し、その花苗を地域内にあるプランター（500基）に 年2回植え替えを行い、東田端のまちが、いつでも「花・みどりがあ ふれるまち」を目指す。	「学校（校房）から地域へ」種蒔きから花育へ循環型システムを創 り上げる。 ・新たな苗床用プランターを購入し、滝野川第四小学校の校庭に 設置する。 ・より多くの花苗を育成することを目標（1000鉢）に学校及び児童と 協働で、種蒔き、水やり、花苗の世話をを行う。 ・花育した花苗を地域のプランター設置者が植え替えし、さらに花 育を行う。	200,000
46	24	2	知的障害のある人々やその周囲 の人々のための自立支援講座	特定非営利活動法人勉強レスト ランそうなんだ！！	知的障害を持つ人々が自立して豊かな生活を送ることができるよ う支援する。	・障害者自立支援法など知的障害者に関する法律を知る講座 ①家族のための簡単法律入門 ・結婚も人生の選択肢として視野に入れる思春期の青年とその家 族を意識した講座 ②知的障害者の兄弟姉妹の立ち位置 ③話します結婚生活 ④学ぼう社会のマナー ・障害者の就労の維持に向けた講座 ⑤話し合おう自分の仕事のこと	200,000
47	24	3	定年男性の地域仲間づくり事 業―地域を肥やす市民をふやそ う―	参画ネット・ノースヴィレッジゆう うー	定年男性の地域活動を促進しつつ、活動を通じて地域貢献に志を 持つ仲間を増やす。 「昔遊び」を自分たちに蓄積されている潜在的スキルであり社会資 源とみて、次世代に提供することを通じて目的を達成する。	定年男性の持つ昔遊びの力に磨きをかけ、昔遊びを次世代との 交流ツールにして地域を活性化し、一緒に社会貢献をしようとい う志を持つ定年層仲間を増やす。 1. 昔遊びのスキルを磨くための学習会（4回） 2. 昔遊びで地域を活性化する大規模なイベントの開催（公園等で 2回実施） 3. 昔遊びの出前ユニットの形成：4つの出前ユニット（①紙芝居② 道具を使った遊び③ものづくり④紙遊び）を結成する。 4. 遊びの出前実施：児童館、学童クラブ、保育園などへのの出前 を実施。	200,000
48	24	4	子育てサロン つみきあそびの ひろば	特定非営利活動法人つみき	発達に心配のある未就学児を抱える親御さんたちの負担をいく らかでも軽減し、地域でいきいきとした生活ができるよう援助を行う。	・外部委託による絵本、音楽を題材にした「リトミック」 ・障害児・者の医療、教育にかかわる外部講師による講話 ・子育てに悩むお母さん方に、当事業所に通われる子どもさんの 先輩お母さんからのアドバイス、雑談息抜き	200,000
49	24	5	花壇の改良（花、草の植栽、及 び土壌の改良）	特定非営利活動法人西ヶ原ロー ズページェント	西ヶ原周辺の本郷通りの花を植えかえ、花壇管理をしてきれいな 町、違法駐輪の追放を目指す。	本郷通りの平塚神社から一里塚までの花壇及び周辺の道路清 掃、水まき、手入れ、雑草とり等を地域住民の方と行う。	181,000
50	24	6	第36回わんぱく相撲北区大会 ふるまいちゃんこイベント	わんぱく相撲北区大会実行委員 会	地域学生たちの主体的な事業参画により、地域社会と学生、子ど も達の交流を図るとともに、地域振興を牽引する次世代の担い手 を育成する。	・家政大学生のボランティアを中心とした「食育」をテーマとした ちゃんこ鍋の創作 ・5月19日に滝野川体育館前公園内で行われる第36回わんぱく相 撲北区大会参加児童及びその父兄にちゃんこ鍋の配給 ・調理道具として防災用五徳鍋を使用することで有事の際の防災 設備の有用性について実演。	200,000
51	24	7	Hand in hand 手をつなぐ交流 のための東アジア理解講座 in 北区	NPO法人AsiaCommons亜洲市 民之道	東アジアの隣人をより理解することで、共感でき、また自ら課題を 見つけ、共に幸せに生きて行くための方法を探そうとする事ができ る。 一期一会が一生涯の付き合いとなるような交流講座を目指す。	東アジアの文化講座の開催 身近に感じる交流ができる「あなたの問題は私の問題」である という切り口での身近な講座 ①中国現代社会 ②中国の朝鮮族 ③北区在住の中国モンゴル族の問題 ④つかこうへい劇団代表による劇団の変遷を通して見えてくるも の ⑤韓国文化	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
52	24	8	「演劇のまち北区」ネットワーク事業	北とびあ演劇祭実行委員会	世代を超えて多くの区民が演劇をコミュニケーションツールとして触れ合うことのできるネットワークをつくり、演劇文化の発信を北区から行うとともに、地域コミュニティの活性化を目的とする。	北とびあ演劇祭に参加している劇団のメンバーを中心に、一般公募も含めての「演劇祭アフター劇団」を結成。 北とびあ演劇祭実行委員会が主体となって劇団運営、公演活動を行う。	200,000
53	24	9	地域交流ははじめの一步 地域住民のスキルを活かした講座に気軽に参加しませんか！？	北園結(ゆい)の会	大型マンションの建設ラッシュに伴い自治会単位で分断された新旧住民や他世代との交流の場として講座を継続的に提供し、交流の中から新たなスキルを発掘し、新しい講座につなげ、希薄になった地域交流を活発にする。	地域住民同士が先生であり生徒である相互循環型で気軽に参加できる講座を提供する。 ①とんぼ玉講座:人気の講座で新規参加者も望め、開催回数や内容の充実を図ることで継続的な参加を狙う。 ②男性のそば打ち:男性をターゲットにし、地域デビューのきっかけをつくる。 ③布ぞうり、④エコクラフト:材料費が安価で、高齢者も子連れママも気軽に参加でき継続的参加が期待できる。	200,000
54	24	10	出張一時保育および手づくりおもちゃ講習会の開催と木育ひろばの開催	親子支援グループ そらいろの種	子どもを持つ親が仕事や社会参加活動などを安心して行うことができるようにするため出張一時保育サービスを提供する。 高齢者の団体と共同で実施する、木育ひろばやおもちゃづくりをとおして世代間交流を深める。	①出張一時保育サービス ・依頼者やスタッフの自宅での一時保育 ・イベント等の会場に出張しての一時保育 ②手づくりおもちゃ講座の開催 ・イベント会場への出店のほか講座方式で実施 ③木育ひろばの開催 ・多世代を対象に自由に参加	200,000
55	24	11	SST・イベントを通して、発達障害児の社会適応能力の向上を目指す	特定非営利活動法人クレセールの心相談室	SST(ソーシャルスキルとレーニンぐ)中心に発達障害児の将来にむけての社会参加能力を身につけさせる。 母親の子育て支援や農作業を通じて食育を行う。	・中高生を中心とした対外講師によるSST(ソーシャルスキルトレーニング) ・小中学生を中心にバス移動による体験学習(農作業、芋ほり、調理実習、キャンプ、科学博物館見学) ・合同レクリエーション(親子や年齢を超えた子どもたちのふれあい1回)の実施 ・イベント(クリスマス会、お楽しみ会、誕生会)の実施	500,000
56	24	12	桐ヶ丘団地高齢者のささえあい活性化プロジェクト	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	高齢化率が23区の中で最も高い北区桐ヶ丘団地において、住民や高齢者自身が支え合うための人材育成、まちづくり活性化を目指す。	(1)地域懇談会の開催 高齢者の暮らしに関わる相談等を聞きだし、具体的な活動を考察 (2)高齢者の暮らしのアンケートとまちづくりシンポジウム 高齢者の生活上の課題を発見し、まちづくりシンポジウムを実施 (3)高齢者の暮らしのサポーター養成講座、仕事おこし 地域に必要な助け合い活動、生活支援、介護等の仕事をおこし (4)健康、介護予防、仲間づくり講座 健康体操、介護予防講座、健康体力測定、懐かし銀幕映画上映会等を実施 (5)中央公園美化ボランティア 草刈り、美化、菜の花プロジェクト、お祭りを開催	500,000
57	25	1	花壇の改良(花、草の植栽、及び土壌の改良)	特定非営利活動法人西ヶ原ローズページェント	西ヶ原周辺の本郷通りに花を植え、花壇管理、植栽活動、清掃作業をして、きれいな町作り、違法駐輪の追放、ポイ捨てゴミの撲滅を地域住民と共に目指す。	・本郷通り(平塚神社〜一里塚)の花壇及び周辺の道路清掃、花壇の植栽、水まき、手入れ、雑草取り等を年間を通して月2回、住民の方と共に行う。 ・ポイ捨てタバコの追放活動のためのステッカーを配布する。	200,000
58	25	2	「おもひでを元気の素に！昭和の郷愁歌謡大作戦」	おもひでチューズデー	昭和歌謡を媒介として高齢者が中心の合唱団と劇団を結成し、参加者、入場者に元気を与える。また、北区に関する昭和歌謡の記録をまとめ上げる。	・郷愁歌謡コンサート:地域の在宅高齢者を主な対象とし、合唱団を結成し、団体と共に演奏会を行う。歌詞カードを配り、入場者にも一緒に歌ってもらう。 ・舞台演出:北とびあ演劇祭に参加して、上記合唱団等に劇団を加えて、昭和歌謡を題材にした音楽劇を披露する。 ・パネルディスカッション:合唱団や劇団に参加した高齢者を中心に昭和歌謡に関するパネルディスカッションを開き、歌謡曲等について意見交換、情報収集を行う。	200,000
59	25	3	「演劇のまち北区」ネットワーク事業	北とびあ演劇祭実行委員会	世代を超えて多くの区民が演劇をコミュニケーションツールとして触れ合うことのできるネットワークを作り、演劇文化の発信を北区から行うとともに、地域コミュニティの活性化を目的とする。	北とびあ演劇祭に参加している劇団のメンバーを中心に、一般公募も含めての「演劇祭アフター劇団」を結成。 北とびあ演劇祭実行委員会が主体となって劇団運営、公演活動を行う。	200,000
60	25	4	花育校房 滝四小児童から地域へ花苗プレゼント	東田端まちづくり協議会	種蒔きから生育し、その花苗を地域内にある500基のプランターに年2回植え替え活動を行い、東田端のまちが、いつでも「花・みどりがあふれるまち」を目指す。	滝野川第四小学校3年生58名が各自1個のプランターを受け持ち、苗床づくりや種蒔き、水やりなどの世話をし、花が咲きだした頃、地域にプレゼントし、500基のプランター保持者が各自で花育を行う。 また、児童は自分で育てた花苗1株を小鉢に移し、引き続き花育していく。 年度内に苗床づくり、種蒔き、植え替えを2回実施する。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
61	25	5	再度挑戦！「赤羽自然観察公園にホタルを」	赤羽自然観察公園ビオトープの会	ホタルが育つ池の環境を整える。 また、ホタルの幼虫の天敵であるザリガニ駆除を行い、幼虫のえさであるカワニナの飼育を行う。	・池にサンゴ砂を投入し、池の環境を整える。 ・成長したヘイケボタル200匹、カワニナ1kgを池に投入する。 ・ホタルに関する専門書を購入し、必要な知識を身に付ける。 ・池の水質検査を行い、結果を記録する。 ・取り組み状況、赤羽自然観察公園の四季をビデオカメラに撮影し、記録に残す。 ・撮影した記録を編集し、区民に公開する。	200,000
62	25	6	フリースクールの子ども・若者による自主製作映画『不登校なう～居場所を求める私たち～』連続上映会 in 北区	特定非営利活動法人 東京シュレー	不登校、いじめ、ひきこもり、居場所探しの実体験から作られた自主制作映画を上映することにより、子どもの気持ちや不登校への理解を進め、居場所を応援する地域づくりを進めたい。	地域・学校関係者・保護者・子ども・若者に少しでも多くこの映画を観てもらうため、月1回のペースで上映会を行う。 上映会では、フリースクールスタッフやゲストの子ども・若者によるトークや質疑を行い、上映後は個別の相談や問い合わせに応じる。 なお、小中学校、高校、町会・自治会に広く鑑賞を呼びかける。	198,000
63	25	7	Hand in hand 東アジア理解講座 in 北区 第二回	NPO法人AsiaCommons 亜洲市民之道	東アジアの隣人をより理解することで、共感でき、また自ら課題を見つけ、共に幸せに生きて行くための方法を探そうとすることができる。 一期一会が一生涯の付き合いになるような交流講座を目指す。	①韓国語広場(ハングルマダン):定期的に開催することで参加者の学習意欲を高め、北区在住の韓国人との交流を深める。 ②韓国文化発展講座:韓国文化を体験できる料理・文化の講座を企画する。 ③日中市民交流対話プロジェクト:宣伝を強化し、北区民の参加を促す。 ④北区東アジア交流・理解講座:北区に住む外国人に故郷の話等の発表の場を与え、真の交流を目指す。	200,000
64	25	8	第37回わんぱく相撲北区大会ふるまいちゃんこイベント	わんぱく相撲北区大会実行委員会	地域学生達の主体的な事業参画により、地域社会と学生、子ども達の交流を図ると共に、地域振興を牽引する次世代の担い手を育成することを目的とする。	・家政大学有志ボランティア学生を中心とした「食育」をテーマとしたちゃんこ鍋の創作。(計1,000食) ・5月18日(土)に滝野川体育館で行われる第37回わんぱく相撲北区大会参加児童及びその父兄にちゃんこ鍋の配給。 ・調理道具として防災センターより防災用五徳鍋を借りて使用することで、有事の際の防災設備の有用性について実演する。	200,000
65	25	9	「孤」育て防止！プレ幼稚園・母子分離トレーニングクラス事業	スマイル・ママの会「子育てママ応援塾」	子どもの発達の早い段階から模擬幼稚園で学ぶことにより、健全な心身や情緒の育成、社会ルールの教育とともに、子育てにおける母(父)の孤立防止と親育ちを目指す。	①マナーなどを学ぶことによる社会ルールの育成:あいさつや返事など、これからの園生活の基本を学ぶことにより、順番を守る、気持ちを伝える、協力するなどの協調性を身に付ける。 ②情緒・知育活動や体力づくりのサポート:教員免許や保育士の資格を持った担当が、絵本の読み聞かせ、英語の歌や読み聞かせ、リトミックなどを実施することで、情緒面の成長や体力づくりをサポートする。 ③子育て相談: 子どもの教育や保護者の子育てについての悩みの相談などをすることで、子育てのストレス軽減や親としての自覚を促すサポートをする。	200,000
66	25	10	若者のためのおしゃべり・カフェ	Green・Heart(グリーン・ハート)	インターネットを含むメディアから氾濫する性に関する情報をどのように判断していくかを、高校生・大学生を含む若い世代層に向けて、気軽におしゃべりしながら、生きることや性について正しい情報を発信する。	①おしゃべりカフェ:専門職等含むボランティアが運営する安心・安全なカフェ(集い場)の運営。性について以外に、心身・心・生き方で一とDV・進路・家族関係などを、基本的には傾聴して若い方々と一緒に考え、内容に応じて区の専門相談を紹介し、つないでいく。 ②おしゃべりカフェサポーター・オープンカレッジ:運営のための人材育成、地域のサポーター及びスタッフの学習会を実施する。	200,000
67	25	11	桐ヶ丘団地におけるささえあい活性化プロジェクト	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	都営桐ヶ丘団地内の高齢化は顕著である。団地内の住民に定期的に集まる居場所を作ることで実態を把握し、ささえあいの仕組みを住民とともにつくる。	・高齢者居場所づくり:定期的に団地内集会所において住民が気軽に参加できるような居場所を作る。健康体操や映画上映、各種イベント(落語、唱歌等)などを通じて、住民同士をつなぐ。また、その中で見えた実態や課題から必要なささえあいの仕組み作りを考える。 ・暮らしのサポーター講座:団地住民を対象とし、桐ヶ丘地域にあるとうれいささえあい組織について話し合う。実際にボランティア活動が盛んな地域などの見学も行う。 ・年間活動報告会:1年間の桐ヶ丘地域でのささえあい活動とささえあいの仕組みづくりについての発表を行う。	500,000
68	25	12	就労支援に向けての必要な技術・マナーを身につけさせる	特定非営利活動法人 クレセール心の相談室	就労に必要な社会参加に向けての基礎的能力を身につけさせる。	中高校生を対象にした対外講師によるSST(ソーシャルスキルトレーニング)、小中学生を対象にした体験学習のほか、以下事業を行う。 ①パソコン教室:パソコンの基礎を身につけさせる。 ②マナー教室: 電話の受け答え、接客の仕方等基本的なマナーを身につけさせる。 ③施設見学:課外活動を通して、情報収集の仕方を学ばせる。就労のための施設見学を行う。 ④農作業:農作業を通して、食育を学ぶ。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
69	26	1	花壇の改良(花、草の植栽、及び土壌の改良)	特定非営利活動法人 西ヶ原ローズページェント	西ヶ原周辺の本郷通りに花を植え、花壇管理、植栽活動、清掃作業をして、きれいな町作り、違法駐輪の追放、ポイ捨てゴミの撲滅を地域住民と共に目指す。	・本郷通り(平塚神社～一里塚)の花壇及び周辺の道路清掃、花壇の植栽、水まき、手入れ、雑草取り等を年間を通して月2回、住民の方と共に行う。 ・ポイ捨てタバコの追放活動のためのステッカーを配布する。	200,000
70	26	2	北区地域住民に対する甲状腺悪性腫瘍についての啓蒙事業	NPO法人TODoc Network	福島原発事故により、甲状腺癌発症の不安が広がり、甲状腺癌について北区地域住民に対し正しい基礎知識の普及を行う。	①公開講座の開催 甲状腺悪性腫瘍について:北区地域住民に専門家が答ええる。 対象者:北区民および区内での就業者 ②.ホームページの更新 区内での公開講座のお知らせとその報告 甲状腺に発症する悪性腫瘍の診断、治療に関する最新情報を発信。	200,000
71	26	3	「おもひでを元気の素に！昭和の郷愁歌謡大作戦」第2弾	おもひでチューズデー	昭和歌謡を媒介とし、歌詞や当時のエピソードの解説を通して当時を思い出してもらい、元気を与える。また、北区に関する昭和歌謡の記録をまとめ上げる。	①郷愁歌謡コンサート 地域の在宅高齢者を主な対象とし、合唱団(5～10人)を結成し、団体と共に演奏会を行う。歌詞カードを配り、入場者にも一緒に歌ってもらう。 ②昭和歌謡シンポジウムの開催 合唱団や劇団に参加した高齢者を中心に昭和歌謡に関するシンポジウムを開き、北区に関係する歌謡曲等について意見交換、情報収集を行う。	200,000
72	26	4	高齢者への美容の啓蒙、普及活動	特定非営利活動法人 日本高齢福祉美容協会	北区の老人会、養護施設晴山院等を訪問した際に、カットやネイル、フェイシャルエステ、着物の着付け等の要望が多く、これらを実現するために普及活動を行う。	・北区の人口の約30%を占める高齢者の方々に広く認識していただく為に、ホームページを開き、チラシも作成する。 ・美容師等を北区の各地域に派遣し、美容組合とも連携し普及活動を行う。 ・26年度は年4回カット・ネイル、フェイシャルエステ、着付け等美容普及会を開催し、高齢者の方々に関心を持ち、健康で快適な生活を過ごしてもらうための啓蒙活動を行う。	200,000
73	26	5	古布のコミュニティ回収事業	NPO法人北くるり協議会	身近にあって、且つ貴重な資源物である古布の多くがリサイクルされずに廃棄されている。区民が参加しやすい新しい回収現場を作り出すことで古布のリサイクル率の向上を図る。	1.古布のコミュニティ回収:モデル地区を定めて古布に限定した回収を行う。1エリア2回/年 ・実施時期:衣替え時期(6月、11月)を目標に検討部会を立ち上げる。 2.古布持込み回収:各種イベント会場に古布受入場所を設置して収集する。 ・実施場所:区民まつり、エコロジーキャンペーン、町会、商店街行事など 3.啓発活動 (1)古布の分別方法、再利用、再使用に関する講習会及び分別現場見学会を年1回開催する。 (2)古布に関するチラシや回収時の集積マップを作成する。	200,000
74	26	6	三たび挑戦「北区の自然公園にホタルの実現をめざして！」	赤羽自然観察公園ビオトープの会	赤羽自然観察公園に来園する多くの利用者からの、ホタルが飛び交う場面を見たいという期待に応えるため。そして、2020年の東京オリンピックの年までに定着させるため。	1.昨年取り組んできた湧水池のヘドロ除去をし、不十分であった砂や石の投入等、活動日を増やし、ホタルの幼虫が育つ環境を整える。 2.会員一人一人が幼虫の餌であるカワニナ、タニシ等の貝の飼育に力を入れる。 3.ザリガニ対策として、湧水池の一部にザリガニ侵入の網を設置する。 4.他県のホタルが舞う自然公園(横須賀市、北本市)を見学し、専門家の指導を仰ぐ。 5.大貫のホタルの幼虫や砂、石を投入する。 6.デジカメ、ビデオカメラで記録に残す。	200,000
75	26	7	産後かふえ はあとほっと	はあとほっと	産後6か月までの中で、核家族化、孤立している母子に対して、乳児がいても集いたい、ゆっくりと癒される時間がほしい等のニーズを満たしつつも、母子関係の大切さ、乳児のケア等専門的な助言を行うための居場所づくりを試みる。	専門職等とボランティアスタッフが週1回、6時間程度、通所型の安心・安全な居場所を運営・提供する。産後に関する相談は助産師がアドバイスする。 ①母に対しては、生活を整えることを目的として、シャワー浴、授乳期に必要な栄養を考えた昼食、安心できる睡眠と休息、母乳育児のためのケア、母乳の授乳援助・乳房マッサージ、個別相談を実施する。 ②児に対しては、健康観察(身長・体重計測)沐浴・授乳・あやし方と遊び、おむつ交換を、基本的なサービスとして提供する。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
76	26	8	第38回わんぱく相撲北区大会 場外ふるまいちゃんこイベント	わんぱく相撲北区大会実行委員会	地域学生達の主体的な事業参画により、地域社会と学生、子ども達の交流を図ると共に、地域振興を牽引する次世代の担い手を育成することを目的とする。	5/17(土)に滝野川体育館で行われる第38回わんぱく相撲北区大会において、家政大学有志ボランティア学生を中心とした「食育」をテーマとしたちゃんこ鍋の創作と、わんぱく力士を対象とした配給。計1,000食用意する。 また、調理道具として防災センターより防災用五徳鍋を借りて使用することで、有事の際の防災設備の有用性について実演する。また、学校・地域と交流を目的とし、家政大学・地元企業と各小学校による応援のぼり旗を作成する。	200,000
77	26	9	Hand in hand 東アジア理解講座 in 北区 第三回	NPO法人 AsiaCommons亜洲市民之道	東アジアの隣人をより理解することで、共感でき、また自ら課題を見つけ、共に幸せに生きて行くための方法を探そうとすることができる。一期一会が一生の付き合いになるような交流講座を目指す。	①韓国語広場(ハングルマダン) 韓国語学習者を中心に「ハングルマダンクラブ」(会員49名)ができ、日本人・韓国人の会員同士の交流も始まったので、さらに深めていく。 ②北区東アジア文化理解講座・アジア料理教室 紹介が少ない韓国や他国の文化講座・料理を北区在住者に提供し、北区在住外国人の講座など交流のための講座を心がける。 ③「外国人のための生活案内」 外国人の育児・教育の体験者、行政書士ら専門家を招き北区在住外国人を対象に講座を開き、日本人も交え個別相談会に発展することを期待。	200,000
78	26	10	北区すこっぷ三味線交流団事業	北区すこっぷ三味線交流団	津軽スコップ三味線の演奏活動を通して地域貢献と広く社会の繁荣と幸福を目指し、体験レッスンなどを通し、多くの方に活力と希望を与え、共に地域振興に挑戦する。	・北区内老人施設へのボランティア演奏訪問 ・北区滝野川体育館のComCom祭りへの参加 ・北区内町会の敬老の日お祝い行事への参加演奏 ・豊島五丁目団地の夏祭り、秋祭りへの参加 ・飛鳥山公園内の飛鳥舞台でのイベント	200,000
79	26	11	桐ヶ丘団地高齢者のささえあい プロジェクト	特定非営利活動法人ワーカーズ コープ	桐ヶ丘周辺地域は半数以上が高齢者という状況である。団地内で孤立・分断されている住民を集会所という集まりやすい場所で居場所を作り、高齢者の主体的な活動を促す取り組みとする。	・高齢者居場所作り:定期的に団地内集会所において住民が気軽に参加できるような居場所を作り、これら活動を住民の主体的活動に高める ・他機関と連携して共催で企画を開催する ・アンケート調査の実施:団地住民と共にアンケート調査をし、ニーズ把握と必要な仕組みはなにかをつかむ ・近隣の類似した団地での住民主体活動の見学:立川市大山団地、松戸市常盤平団地などの実態を見学し、桐ヶ丘地域での活動に活かす ・報告会:26年度の活動の報告を住民向けに開催する。	500,000
80	26	12	北区十条地区コンテンツツーリズム確立事業	海企画	①十条のイメージを明確にし、イメージアップすること ②観光スポットを新たな手法で近隣住民へアピールし、若年層とファミリー層の観光及び居住率を高める	①「海企画」芸能で街創り」メンバーを中心とし、ボランティアや協力者と力を合わせ、「十条地区」を舞台にしたショートムービーの作成 ②北区初の「コンテンツツーリズム(フィルムツーリズム)」という手段の基礎固めとする。 ③このツールを使い「十条のイメージアップ」を図り、近隣自治体へのイメージを創出し認知度を高める。 ④Facebook/Youtube等インターネット上、十条地区や近隣地区の上映可能施設、北ケーブルでの放送	500,000
81	26	13	ママたちのストレスケア及びワークライフバランス応援事業<臨時託児スペース&プレ幼稚園の運営>	スマイル・ママの会「子育てママ 応援塾」	子育てにおける母(父)の孤立防止を目指す。また、臨時の託児場を設け、ストレス緩和と社会のつながりを応援し、ワークライフバランスを推進する。	1.ママによるママのための臨時保育場をつくる 保育士資格や教員免許を持った専業ママが地域で若いママたちを応援するスペースを作り、自己啓発の時間を提供する 2.資格を取得出来る講座を開催し、ママの再就職や就労、起業をサポートし、その時間保育する。 3.プレ幼稚園事業で、集団生活を体験する機会を創る 母子分離で母親のストレス緩和、子育てについての悩みの相談にも乗り、ストレス軽減や親としての自覚を促すサポートをする。	500,000
82	27	1	「おもひでを元気の素に！昭和の郷愁歌謡大作戦」第3弾	おもひでチューズデー	昭和歌謡を媒介に、エピソードの解説を通して当時を思い出してもらい、高齢者に生き活きと元気になっていただく。 今回も「おもひで合唱団」を結成する。また、北区に関する昭和歌謡の記録をまとめる。	(1)郷愁歌謡コンサート 地域の在宅高齢者を中心に、おもひで合唱団(5～10人)を結成し、団体と共に演奏会を行う。入場者にも歌詞カードを配り、一緒に唄ってもらう。 (2)昭和歌謡シンポジウム 主に北区に関係する戦前・戦後の歌謡曲や歌手等についてのシンポジウムを開催し、意見交換と情報収集を行う。	200,000
83	27	2	身近なビオトープから広げる 環境学習	北区エコリーダーの会	身近なビオトープを詳しく紹介する内容の冊子を作成し、将来それを活用することで、身近な自然から繋がるより大きな自然環境にまで視野を広げ、環境学習を深め充実させる。	(1)主に地域にあるビオトープの1年間の様子および生物について写真と解説で紹介するとともに、会員の専門性を活かした環境や生物についての記事を掲載した冊子を作成する。 (2)作成した冊子の今後の活用方法などを考えていく。 【掲載例】①昆虫や植物の専門的な話、②環境や生態系など 【構成】季節ごとの解説や生物の生活史について紹介するなど、専門的な知識の無い人も楽しめるようにする。	172,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
84	27	3	日本語を母語としない小中高生の学習支援・居場所づくり	北区学び場Let's Study	日本語を母語としない児童・生徒の学習は困難な状況にあり、その支援は急務である。こうした子供たちの学び場の支援と居場所づくりを目指し、彼らが今後日本社会に出ていく一助とする。	(1)学習支援 ①日本語学習支援(日本語がほぼ初級の生徒を対象) ②宿題・教科学習支援(教科内容の理解・未習部分の補充) ③生徒たちの進学・進路支援 (2)学生生活に必要な学習以外の機会の提供 お弁当作りや習字等を学ぶ機会を設ける。また、北区の私立中高生との交流、お祭り参加など多岐にわたっての経験を広げる。 (3)同様の活動を行う他地域の先進的ボランティアグループの見学や、日本語を母語としない児童生徒教育のスペシャリストを講師に研究会を開く。	200,000
85	27	4	「もっと知りたい！いろんな文化～身近な異文化交流講座」	異文化交流サロン かびばら	将来を担う子供達を含む地域住民及び在住外国人双方が、異なる文化や習慣があることを理解し、お互いの価値観や考え方を尊重しながら同じ地域で共生していくことを目指す。	(1)異文化理解講座の実施 ①親子(小学生対象)講座 簡単な外国語講座など、外国を身近に感じられる講座 ②親子(未就学児対象)講座 いろんな国の音楽に合わせて体を動かそう、外国の子育て事業を知ろうなどの講座 ③住民と在住外国人との交流事業 飾り寿司を作り、各国のお祝いの飲食について語り合う。 ④外国人向け講座 着物の説明と簡単着付け講座 (2)かびばらカフェ 在住外国人対象のおしゃべり相談サロン、簡単な日本文化紹介 講師の指導を受けて描いたハガキ絵を対象のお年寄りに年に2～3回送る。その作業を月に3回行う。	200,000
86	27	5	ボランティアお便り	ボランティアお便り	一人暮らし、二人暮らしの高齢者に、より心豊かに北区で住み続けられるよう応援していく。		120,000
87	27	6	北区長杯争奪『第10回北区アクアスロン大会』	特定非営利活動法人 れっど★しゃっふる	過去9年(開催回数9回)継続開催してきた『北区アクアスロン大会』(Swim & Run)を更に地域に浸透・定着する事を目的に、このイベントを町会・自治会との連携による、『シルバー世代の生きがい作り』、および若年世代の『居場所づくり』にトライする。	(1)アクアスロン競技 ・Swim競技:北区元氣ぷらざ周回プール ・Run競技:志茂1丁目公道周回コース(ゴール:志茂町公園) ・エントリー4種目:「ファミリー」「チャレンジ」「ショート」「ロング」 (2)若年世代 ・受付、誘導、警備、警戒、その他の業務 (3)シルバー世代 ・参加者への「豚汁」調理及び提供 ・運営スタッフへのおにぎり、豚汁調理及び提供、その他の業務	200,000
88	27	7	北区すこっぷ三味線交流団事業	北区すこっぷ三味線交流団	津軽スコップ三味線の演奏活動を通して地域貢献と広く社会の繁栄と幸福を目指し、体験レッスンなどを多くの方に活力と希望を与え、共に地域振興に挑戦する。	・区内老人施設へのボランティア演奏訪問持続 ・高齢者ふれあい食事会の食事後の演芸演奏 ・区内町会の敬老の日祝賀行事への参加演奏 ・北区滝野川会館でのComCom祭りへの参加 ・豊島五丁目団地の夏祭り、秋祭りへの参加 ・飛鳥山公園内の飛鳥舞台での公開練習の開催 ・津軽すこっぷ三味線東京大会の開催	500,000
89	27	8	古布のコミュニティ回収事業	NPO法人北くるり協議会	身近に区民が参加しやすい古布のリサイクル現場を作ることが古布のリサイクル率の向上につながる。 新しい回収現場を区内全域に広げる。	(1)見学会 古布問屋の選別現場の見学及び講演 (2)古布のコミュニティ回収 衣替え時期に、モデル地区を定めて古布に限定した回収を行う。 (3)古布持込み回収 各種イベント会場に古布受入場所を設置して収集する。 (4)古布の区内巡回型持ち込み回収 衣替え時期に、日時・場所を特定して1日一定時間だけ受け入れを行う。	500,000
90	27	9	北区秋のフェスティバル	北区秋のフェスティバル実行委員会	北区の飲食店の魅力を広くPRする。食を通じた地域振興、点在している飲食店を通じた地域コミュニティの醸成・強化を図り、子育て世代にとって住み良い町、住みたい町と感じてもらう。 企画運営者、飲食店、ボランティア等が相互理解を深め、地域コミュニティどうしの横のつながりも強化する。	・区内飲食店が20店舗程度参加するグルメグランプリ ・5年前から開催し、食のフェスティバルとして定着しつつある。 ・主たるターゲットである子育て世帯のさらなる来場を目指し、「鉄人パティシエ部門」(甘味部門)の導入、アンパンマンショーなどのステージイベントを企画する。 ・親子で食育等を学び、体験できるブースを設置する。	500,000
91	27	10	就労支援に向けての必要な技術を身につける。	NPO法人クレセール心の相談室	就労に必要な社会参加に向けての基礎能力を身につけさせる。	(1)マナー教室 SSTを通して、人とコミュニケーションを図れるようにしていく(あいさつ・電話応対・困っていること)。 (2)パソコン教室 毎月1回パソコンの基礎を身につけさせる(ワード・エクセル・パワーポイントなど)。 (3)課外活動 3か月に1度を目安とし、年3回の課外活動を通して、情報収集の仕方を学ばせる。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
92	27	11	「プレ幼稚園★母子分離コース」と「夏だけのキッズクラブ」	「子育てママ応援塾」	子育てにおける専業ママの孤立防止を目指し、地域で親子を見守る。 従来の学童で対応できていない部分に悩む、働くママたちをサポートする。	(1)プレ幼稚園事業で、集団生活を体験する機会を創る。 母子分離で母親のストレス緩和、子育てについての悩みの相談にもおり、ストレス軽減や親としての自覚を促すサポートをする。 (2)保護者が安心でき、子どもも有意義な時間が過ごせるように母親目線でのプログラムを作る。	500,000
93	27	12	映画鑑賞を通じて育む、粋をこえたあたたかいコミュニティづくり	バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ	様々な区民の方に映画をともに楽しんでもらい、上映後のカフェタイムを通じて、感想をシェアしながら、自然な形で交流し、知りあっていく。	・昨年オープンした「アートスペース・チュブキ」(上中里駅前)にてバリアフリー上映を月4日間実施する。 ・映画を一緒にみて、一緒に笑ったり泣いたり感情体験をともにし、上映後のカフェタイムでシェアすることで偏見やレッテルをはがした交流が生まれる。 ・上映会と会話を通じて、人それぞれの感じ方、見え方の違いを知り、偏見や価値観などにとらわれず、多様性を認めあえるコミュニティを育てていく。	500,000
94	28	1	「もっと知りたい！いろんな文化～身近な異文化理解講座」	異文化交流サロンかびばら	将来を担う子ども達及び在住外国人を含む地域住民が、自分とは異なる文化や習慣があることを理解し、多様な価値観や考え方を尊重しながら地域でともに暮らし、助け合っていくことを目指す。	1 異文化理解講座 (1)英語ワークショップ(5歳～小学生対象) 【日時】平成29年3月(2回)平日の午前 【定員】各15名 【内容】英語を用いた工作等を通し外国理解を深める。 (2)親子講座(5歳～小学生対象) 【日時】7月(2回)、12月(1回)の土日の午前 【定員】各15名 【内容】①世界地理 ②世界のジェスチャー ③世界の音楽(いずれも仮題) (3)大人講座(区民対象)／平日の午前(各1回) ①暮らしの中の非言語コミュニケーション(9月、20名) ②日本食材で外国料理(11月、15名) ③着物講座と着付け体験(11月、15名) 2 かびばらカフェ(ぷらざサロンコーナー) ①毎月第2・4火曜日、区民向けサロン ②特別企画(計3回、乳幼児対象)	200,000
95	28	2	日本語を母語としない小中高生の学習支援・居場所づくり	北区学び場Let's Study	日本語を母語としない児童・生徒の学習は困難な状況にあり、その支援は急務である。こうした子どもたちの学びの支援と居場所づくりを目指し、彼らが今後日本社会に出ていく一助とする。	(1)学習支援 ・日本語学習支援(日本語がほぼ初級の生徒を対象) ・宿題・教科学習支援(教科内容の理解・未習部分の補充) (2)学生生活に必要な学習以外のこと ・お弁当作りや習字等を学ぶ機会を設ける。また日本社会での経験も偏りがちなため、北区の私立中高生との交流、お祭り参加等多岐にわたっての経験を広げる。	200,000
96	28	3	北区のむかしばなし、あったとさ！	特定非営利活動法人アドリブ	・北区の昔話を通して北区を身近に感じる。 ・北区の昔話の世界から地域に愛着を持つ。 ・世代間を通して共通のテーマを体験し、地域でのコミュニケーションを高める。	(1)紙芝居の作り方に関する講演会及びオカリナの演奏会、ミニブックトーク、季節のバザーの企画・運営・実施(4月30日 プレイベント) (2)「王子のきつね」紙芝居製作 (3)「北区のむかしばなし」のパネル製作 (4)「北区のむかしばなし」由縁の地のDVD製作 (5)講演会「北区のむかしばなし」を企画・運営・実施(11月26日、27日) (6)「王子のきつね」紙芝居上演(11月25日～27日) (7)「北区のむかしばなし」由縁の地のDVD上映 (8)「王子のきつね」紙芝居を北区の図書館に寄贈して利活用してもらう。	200,000
97	28	4	「子ども食堂」	特定非営利活動法人アビリティ クラブたすけあい 北区たすけあい ワーカーズひよこ	支援を必要としている方々、主として子どもたちを対象に、食事作りや食事の提供をする。	(1)支援を必要としている子どもたちのため、食事作りをともにに行い、生活力を身につけてもらう。孤食でない食事をみんなで楽しむ。 (2)年2回、食事後にお楽しみ会を開催。 【日時】毎月1回 土曜日から日曜の昼食、夏休みは週1回位 【場所】めんどりサロン、【定員】10名 【対象者】できるだけ、支援を必要としている子どもたちとその親	200,000
98	28	5	古布のコミュニティ回収事業	NPO法人北くるり協議会	身近にあって、且つ貴重な資源物である古布の多くがリサイクルされずに廃棄されている。区民が参加しやすい新しい回収現場を作りだし、且つ、戸別出張回収することで古布のリサイクル率の向上を図る。	(1)古布のコミュニティ回収:モデル地区を定めて古布に限定した回収を行う。1エリア(連合町会レベル)2回/年 【実施時期】衣替え時期(6月、11月) 【参加予定者】趣旨に賛同した連合町会、PTA等 (2)古布の持込み回収:各種イベント会場に古布受入場所を設置して収集する。 実施場所:区民まつり、環境展、町会、商店街行事等(6回程度実施予定) 古布売上代金:古布の量に応じてティッシュペーパーと交換する。 (3)古布の訪問回収:粗大ごみ引き出し作業と連携して回収する。 (4)啓発活動:古布の分別方法、再利用、再使用に関する講習会及び分別現場(古布問屋)見学会(11月予定) 【参加予定者】コミュニティ回収参加者ほか	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
99	28	6	重度心身障害児の子供たちを支える為の事業	重度心身障害児親子の会 スマイリーサン	重度障害を持つ子ども達が親子の交流を通してプールや障害者マーク作りをし、北区で安心して少しでも楽しく過ごせる地域を作る。	(1)プール教室 【対象】重度心身障害児(体幹機能障害、四肢麻痺)、3歳～小学生までの親子10組 【実施回数】毎月2回(14時～15時) 【場所】障害者スポーツセンター (2)広報活動(障害者マーク) ・缶バッジ(車イスにつけるもの) 250個製作 ・ステッカー(車イスにかけるもの) 250個製作 ※平成29年3月までに無料で配布(医療関係、学校等) (3)講演会(年1回、秋頃) 【場所】医師会館 【対象者】区民、医療関係者等	200,000
100	28	7	心のバリアフリーを目指して～視覚障がい者スポーツをみんなで楽しむ～	来たKITAオリパラ 区民チャレンジ会	障がい者と一緒に楽しめるスポーツを提案し広めることにより、障がい者への理解と「ともに生き活きと住める」街づくりについて区民とともに考えるきっかけをつくる。	児童・保護者を主な対象とした、視覚障がい者と一緒にできるレクリエーションスポーツを紹介しながら、その参加者に障がい者を理解してもらうためのお話を開催する。 (1)「体験会&お話し会」(年5回程度) ①体験会(レクリエーションスポーツ):目かくしをして視覚障がい者と同じ条件のなかで行う球技。 ②お話し会:実際に障がい者アスリートの方や支援等で関わっている方を呼び、トーク会を体験会と同時開催する。 ※①及び②は同時開催で、各回20名程度。 (2)イベント開催(講習会) 「障がい者とともに生き活きと暮らす街(仮称)」をテーマに講習会のスタイルで、イベントを実施する。(年度末を予定、50名程度)	200,000
101	28	8	北区秋のフェスティバル	北区秋のフェスティバル実行委員会	北区内外から来場者やおいしい店を集め、北区のPRやイメージアップ等地域振興に寄与する。また、スポーツ振興を通して健全育成を目指し、北区で子育てをしたいと感じてもらえる、住環境問題の解決の一助となる。 開催の過程で、運営者、飲食店、ボランティア等の相互理解、協力関係、地域コミュニティ同士の横のつながりも強化する。	北区の飲食店を中心に20店舗程度参加するグルメグランプリを開催する。 今回は区外の店舗も募集し、食フェスとしての質を高める。 【1日目】会場:赤羽公園。 食フェスに加え、東京オリンピック・パラリンピックに向け、プロスポーツ選手をゲストに招き、スポーツ体験イベントも行う。 【2日目】会場:飛鳥山公園 食フェスに加え、区内の吹奏楽部やダンスチーム等に日頃の成果を披露してもらう。	500,000
102	28	9	北区すこっぷ三味線交流団事業	北区すこっぷ三味線交流団	津軽すこっぷ三味線の演奏活動を通じて自他ともの幸福を目指して地域貢献と社会の繁栄に挑戦。町を元気を活力を合言葉に地域振興に励む。	(1)平成29年3月の日曜日、または祭日に第2回「津軽すこっぷ三味線関東大会in東京北区」を開催する。 【定員】1300席 【場所】北とびあ さくらホール(予定) (2)北区高齢者いきいきサポーター制度受け入れ施設を全て訪問する(1施設に対して年2～3回)。 (3)飛鳥山公園内の飛鳥舞台にて、ボランティアすこっぷ三味線演奏会を行う。体験レッスンを通じて啓発活動を行う(5月、9月)。 (4)地域の祭り、敬老会行事、北区区民まつり等積極的に参加していく。	500,000
103	28	10	発達障害者(ひきこもりを含む)の社会参加応援事業	不登校・ひきこもりの 自主家族懇談会「赤羽会」	当事者が、社会参加のために地域でつながりをもち、社会的自立を実現することを目指す。	(1)潜在的発達障害者(ひきこもりを含む)の発掘及び広く区民の理解促進のための啓発活動及び相談会 ①「発達障害とは何か」について、専門家による講演会を発達障害当事者・家族及び関心のある北区民50名余を対象として、北とびあ等で9月頃開催(参加費:500円/名) ②「発達障害者の就労支援」について(11月頃開催) ③「発達障害者との関わり方」について(H29年1月頃開催) (2)発達障害ゆえの生きづらさを抱える当事者中心の居場所の活動 毎月第3月曜、13時～17時に、区内公共施設を借りて、発達障害者ピアサポーター、専門家、ボランティア等の協力で、居場所を開催する。発達障害者を対象として5名/回を見込む。(参加費:200円/名) 10、11月:心理(コラージュ等)、12月:アナログゲーム等、1、2月:料理教室、3月:アナログゲーム等	274,000
104	29	1	発達障害者(ひきこもりを含む)の社会参加応援事業	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	当事者が社会参加のために地域でつながりをもち、社会的自立を実現することを目指す。	1. 主として潜在的発達障害者(ひきこもりを含む)の発掘及び広く区民の理解促進のための啓発活動及び相談会 「発達障害とは何か」について、専門家による講演会を主として発達障害当事者・家族及び関心のある区民50名余を対象として、北とびあ等で9月頃開催 2. 発達障害ゆえに生きづらさを抱える当事者中心の居場所の活動 偶数月の第3月曜、13～17時、または奇数月の土曜、13～17時に(9、10月は除く)、区内公共施設を借りて、発達障害者ピアサポーター、専門家、ボランティア等の協力をいただき、居場所を開催する。主として発達障害者を対象として5名/回を見込む。 心理ワーク、アナログゲーム等のレクリエーション、料理教室、就労相談、心理相談等をプログラムとして活用する。	186,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
105	29	2	日本語を母語としない小中高生の学習支援・居場所づくり	北区学び場 Let's Study	日本語を母語としない児童・生徒の学習は困難な状況にあり、その支援は急務である。こうした子どもたちの学びの支援と居場所づくりを目指し、彼らが今後日本社会で生きていく一助とする。	北区に住む子どもたちのために、を基本理念に ①日本語学習支援(日本語がほぼ初級の生徒を対象) 宿題・教科学習支援(教科内容の理解・未習部分の補充) ②学校生活に必要でありながら、誰も教えてくれなかった学習以外のことを学ぶ機会を設ける。 ③日本社会と関わる経験が少ないため、北区の中高生との交流、北区の祭りへの参加等多岐にわたっての経験を広げる。 学習支援ボランティアも、近隣大学のボランティアセンター、ボランティアふらざ、インターネットによる情報発信によって、地域に根付いた人材を確保、育成していく。毎回の教室終了後にはボランティア同士の反省会を開く。別途、年に数回はボランティア全員で活動全体の見直しをする機会を設ける。	200,000
106	29	3	重度心身障害児の子どもたちを支える為の事業	重度心身障害児親子の会スマイリーサン	重度障害を持つ子どもたちが親子の交流を通して運動会や障害者マーク作りをし、北区で安心して少しでも楽しく過ごせる地域を作りたい。	1. 運動会 対象: 重度心身障害児(体幹機能障害、四肢麻痺) 30名(兄弟、家族100名) 時期: 8月予定 場所: 赤羽体育館、障害者スポーツセンター、代々木体育館等、現在調整中 ポスター1000枚(ボランティア募集含む) 北区ニュースで6月頃募集をかける 2. 広報活動 障害者マークの ・缶バッジ(車いすに付ける) 300個 ・ステッカー(車いすに掛ける) 300個 を無料で配布(北療育医療センター、北特別支援学校、医療関係、学校等、28年度に配布できなかった方に配布予定) 3. 講演会 秋頃に1回、区民センターにて行う。	200,000
107	29	4	子ども食堂	特定非営利活動法人 アビリティクラブたすけあい 北区たすけあいワーカーズひよこ	支援を必要としている方々、主として子どもたちを対象に食事作りや食事の提供。	実施日時: 毎月1回 土曜日から日曜日の昼食 夏休みは8月後半に週2回くらい開催 場所: めんどりサロン 参加予定者: 定員10名 参加対象者: できるだけ、支援を必要としている子どもたちとその親(スクールソーシャルワーカーからの紹介者や学習支援活動への参加者) 事業内容: ①支援を必要としている子どもたちのため、食事作りを共に行い、生活力を身に付けてもらう。孤食でない食事をみんなで楽しむ。 ②年に2回、食事後にお楽しみ会を開催。	119,000
108	29	5	心のバリアフリーを目指して～視覚障がい者スポーツをみんなで楽しむ～	来たKITAオリパラ区民チャレンジ会	障がい者と一緒に楽しめるスポーツを提案し広めることにより、障がい者への理解と「ともに生き活きと住める」街づくりについて区民とともに考えるきっかけをつくる。	昨年度に引き続き、児童・保護者を主対象に、視覚障がい者理解のためのレクリエーションスポーツとお話を開催する。レクリエーションスポーツとしては、アイマスクをして視覚障がい者と同じ条件で行う球技(ゴールボールとブラインドサッカーを混ぜたもの)を体験してもらう。同時に行う「お話し会」では、実際に障がい者の方や支援者等をお呼びし、トーク会を開催する。 今年度は室内でも可能なゲーム内容も提案し、一層の周知に努め、年に3回の開催を目標とする。 以上とは別に、年度末を目途に「障がい者とともに生き活きと暮らす街」をテーマに区民シンポジウム形式のイベントを開催する。	122,000
109	29	6	北区むかしばなし、あったとさ! その2	特定非営利活動法人 アドリブ	・北区の昔話を通して北区を身近に感じる。 ・北区の昔話の世界から地域に愛着を持つ。 ・世代間を通して共通のテーマを体験し、地域でのコミュニケーションを高める。	(1) 昔話に関する講演会及びミュージックベルの演奏会、季節のバザーの企画・運営・実施(4月30日実施予定、プレイベント、ギャラリー&カフェ・ファインド予定) (2) 紙芝居及びDVDの制作(赤羽編) (3) 講演会「(仮)北区のむかしばなし」及び王子編・赤羽編の紙芝居上演を企画・運営・実施(12月9日実施、赤羽会館予定) (4) 解説書(講演記録)の作成(王子編・赤羽編) (5) 紙芝居と解説書を北区立中央図書館に寄贈して利活用してもらう。	200,000
110	29	7	「魅力再発見! ノルディックウォーキングで巡るわが街北区」	特定非営利法人 れっど・しゃっふる	北区民の「健康」「交流」「北区の魅力再発見」をテーマにノルディックウォーキングで北区の各所を巡る。東京2020に向けて、スポーツ機運の醸成と北区の魅力を発信できる人材を輩出する	北区観光ガイドマップのコースに沿って全8回のノルディックウォーキングツアーを行う。1回あたり2時間から3時間程度。定員30名で開催する。ノルディックウォークは2本のポールを使って歩くので通常のウォーキングより短い時間でもカロリー消費が高い。 ウォーキングの途中に観光ボランティアを配置し、見どころや歴史等の解説をしてもらう。また、ガイド活動の楽しさについても語ってもらう。 最終回には全コース踏破者に対する表彰、参加記念品の贈呈、ボランティアガイドとの北区の魅力についての振り返りと交流の会を行う。ここで出た意見を新たな北区の魅力として集約する。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
111	29	8	赤羽自然観察公園内水田を活用した食育事業	赤羽自然観察公園ボランティアの会 いなほクラブ	自然と人間とが真に触れ合える公園作りを図る目的のなかで水田の耕作の体験をしてもらい、近隣の小学校や地域住民の方に稲・米を通じて人間として生きる力を育んでもらう(食育)。	・区民田んぼの体験農業 場所: 田んぼ 参加予定者: 述べ120名(会員含む) 全6回(①代掻き(田おこし)②田植え③草取り④防鳥ネット張り⑤稲刈り⑥脱穀) ・もちつき納会(11月下旬開催予定) 場所: 赤羽自然観察公園内炊事棟周辺 参加予定者: 述べ100名	197,000
112	29	9	草木染から知る自然の力	東京都北区環境教育を進める会	講座参加者には、自然環境からの恩恵を体感し、自然の大切さを実感することにより、貴重な自然環境の保全・復活への意識啓発と地域への愛着を醸成する。	(1) 草木染体験講座 赤羽緑道公園環境課施設を拠点に各回親子20組40人を対象に、午前中3時間程度、公園内の草木調査や栽培した藍、ペニバナによる草木染体験講座を5月から10月にかけての日曜日に4回行う。 ・5月28日(日) 草木染講義(染色作家)、藍、ペニバナ種まき ・7月16日(日) 藍の刈り取り、藍生葉染等体験 ・9月17日(日) 藍乾燥葉染等体験※藍瓶立て実習(藍の葉を数か月発酵させた「すくも藍(購入)」をポリバケツに仕込み藍がめを作る。 ・10月15日(日) 藍染体験(藍がめ使用) (2) 北区環境展(会場: 王子小学校)に参加し、藍染の出前授業等を行う。10月21日(土)午前中、王子小学校3クラス100人を対象に出前授業、午後は校庭テントで来場者100人程度を対象に藍染体験を行う。 (3) 印刷物作成・配付 赤羽緑道公園内で参加者と一緒に実施した植物調査の情報や講座の内容を、印刷物にして配布し、広く区民に自然の大切さを啓発するとともに、地域への愛着を醸成する。 A4版、16頁、4色刷り、500部 配布先: 小中学校、地域振興室、図書館等	500,000
113	30	1	青空アートあそび ～子どもが笑えば 大人も笑う～	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	造形やペイントなどのアートの活動を通し、子どもが自由に表現できる場を開く。大人は子どもとの関わり方や気持ちの受け止め方を学び合い、親子が笑顔で共感しあい、成長するきっかけを作る。	主に幼児親子を対象に、公園で子どもたちがアート遊びを楽しめる広場を開く ◎アートあそびの例 ・手や素足に絵具をつけて紙や布に絵を描いてみる ・画用紙に落ち葉をいっぱい貼ってみる 屋外は周りが汚れても気にならないので、子どもは自由に作り、思う存分表現できる。子どものアート活動はコミュニケーションであると考え、上手に作ることや完成させることを大人が求めるのではなく、子どもの表現をそのまま受け止めることを周りの大人にも伝えていく。子どもの創作意欲を伸ばし、寄り添える講師を招き、習い事とは違う開かれた場で声掛けの見本を示すことで、活動に参加した親、特に普段子どもと接する時間が少ない父親にも、子どもの表現の受け止め方や子供との遊び方を学んでもらう。	200,000
114	30	2	北区のむかしばなし、 あったとさ！その3	特定非営利活動法人 アドリブ	1) 北区の昔話をとおして北区を身近に感じる 2) 北区のむかしばなしの世界から地域に愛着を持つ。 3) 世代間をとって共通のテーマを体験し、地域でのコミュニケーションを高める。	1) 昔話に関する講演会及びフルートの演奏会、季節のバザーの企画・運営・実施(4月29日実施予定、プレイベント) 2) 紙芝居及びDVDの制作(滝野川編) 3) 講演会「(仮) 北区のむかしばなし」及び王子編・赤羽編・滝野川編の紙芝居上演を企画・運営・実施(12月10日実施予定) 4) 解説書(紙芝居のテーマに沿った歴史ガイド)の作成(滝野川編) 5) 紙芝居と解説書を北区立中央図書館に寄贈して利活用してもらう。	200,000
115	30	3	赤羽自然観察公園内水田を主に活用した食育事業	赤羽自然観察公園 ボランティアの会 いなほクラブ	自然と人間とが真に触れ合える公園作りを図る目的の中で水田の耕作を体験してもらい、地域住民の方や近隣の小学校に稲・米を通じて人間として生きる力を育んでもらう。(食育)	・区民田んぼの体験農業…場所: 田んぼ 参加予定者数のべ300人(全5回) ・もちつき納会…場所: 赤羽自然観察公園内炊事棟周辺 参加予定者数120名(11月下旬開催予定) ・赤羽台西小学校体験授業…場所: 田んぼ及び学校 参加予定者数のべ小学生200名保護者50名(全5回) ・桐ヶ丘郷小学校体験授業…場所 田んぼ及び学校 参加予定者数のべ小学生350名保護者50名(全5回) ※区民田んぼの体験農業は①田植え②草取り③防鳥ネット張(かかし作り)④稲刈り⑤脱穀の全5回の予定です。 ※小学校の体験授業は②代掻き(田おこし)②田植え③稲刈り④脱穀⑤おにぎりパーティーの全5回の予定です。	198,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
116	30	4	発達障害者(ひきこもりを含む)の社会参加応援事業	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	当事者が、社会参加のために地域で繋がりを持ち、社会的自立を実現することを目指す。	1. 主として潜在的発達障害者(ひきこもりを含む)の発掘及び広く区民の理解促進のための啓発活動及び相談会:「発達障害者の就労」について、専門家による講演会を主として発達障害当事者・家族及び関心のある北区民50名余を対象として、北とびあ等で11月頃開催。(参加費:500円/名) 2. 発達障害ゆえの生きづらさを抱える当事者中心の居場所の活動:区内公共施設を借りて、発達障害者ピアサポーター、専門家、ボランティア等の協力を頂き、居場所を開催する。主として発達障害者を対象として5名～10名/回を見込む。6月、7月、8月、9月、10月、翌年1月、2月、3月(計8回)、レクレーション、料理教室。就労相談、心理相談、等をプログラムとして活用する。(参加費:原則無料)	200,000
117	30	5	がん患者と家族のための居場所づくりと情報提供	王子がん哲学外来	がん患者と家族がかかえる問題を地域の課題として共有し、解決するために必要な地域のネットワークを当該事業を通じて形成すること。	がん哲学外来はがん患者と家族の心のケアのための対話の場であり、メディカルカフェという形で全国にひろがっている。 患者や家族だけでなく地域の医療や介護の関係者など立場の違う人たちが集い、安心して不安や悩みを話せる場を提供している。 ●王子がん哲学外来では、地域住民や在勤・在学者を対象として ・毎月1回メディカルカフェを北とびあで開催(9月と12月を除く)参加人数10～15名 ・王子のメディカルカフェ4周年記念行事を北とびあで9月に開催 参加予定人数70～80名(講演会を行い、啓発のための資料やグッズなどを配布) ●地域の関係者による情報交換会を開催して新しいネットワークを構築する(医療や介護の関係者 行政機関の担当者 他) ●活動周知のためのパンフレット等の作成と配布(社会福祉協議会、医療機関、地域包括支援センターなどに送付) ●がんの専門性を有する市民団体からの情報収集やフォーラムなどに参加(情報交換のための訪問や講演会などに参加)	167,000
118	30	6	音楽を活用した健康・認知症カフェの定期開催事業	元気deおわん猫	1. 認知症カフェの定期的開催の継続と、認知症への理解促進と交流の場として新たな企画の整備。 2. 地域で安心して生活ができるよう、現在行っている歌会・居場所カフェの継続により、さらに多くの高齢者の交流の場となる。	認知症カフェ「おわん猫の和」の定期的開催 目的:高齢者が住み慣れた地域で元気で楽しみながら暮らせるような場の提供をする。 実施日時:毎月第3火曜日に滝野川高齢者あんしんセンターの協力を得て開催 対象:認知症の方およびそのご家族 場所:滝野川文化センター3階の視聴覚室 参加人数:認知症の方と家族を含め20名程度 認知症の理解を深め、さらに周知していくための普及啓発活動が続ける。 2. 元気deおわん猫による演奏の歌会の定期開催 目的:高齢者のひきこもり・孤立予防 実施日時:毎月第2火曜日13:30～16:00 場所:滝野川文化センターの3階視聴覚室 参加人数:20名程度 対象:歌の好きな方 ※1・2とも、会開始前の参加者の健康チェック、看護師による健康相談、健康に関する講演や講座の開催、歌う前の健康顔体操やストレッチ等の実施、コミュニケーションの時間確保、生演奏にあわせお歌を歌ったりする。認知症の方および家族の傾聴と相談対応等。 3. 認知症サポーター養成講座の開催と認知症カフェの普及啓発 地域包括支援センターの協力支援を得て実施 4. 出張演奏 北区内の高齢者施設、区民センター、社協や地域包括支援センター主催のサロンなどへの出張演奏を引き続き行う。	200,000
119	30	7	フレイル予防プロジェクト「いきいき運動ステーション」	特定非営利活動法人 れっど・しゃっふる	当法人が実施するスポーツプログラムを通じて、地域の高齢者にフレイル予防の意義と社会参加の楽しみを知っていただく。	・専門家による「フレイルとは何か」についての講義(赤羽会館) ・社会参加と身体活動のためのスポーツプログラムの実施 ①ポールウォーキング(歩行の改善)金曜日 ②腰痛膝痛改善プログラム(痛みの改善のための筋肉強化)水曜日 ③ピラティス(筋肉強化)土曜日 参加者の身体状況、生活サイクルに合わせて選択可能とし、各プログラムを包括して体験できるよう、回数券方式(8回)で参加費を徴収する。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
120	30	8	重度心身障害児の子供たちを支える為の事業	重度心身障害児親子の会 スマイリーサン	重度障害を持つ子供たちが親子の交流を通して、運動会、音楽会、勉強会、障害者マーク作りをし、北区で安心して少しでも楽しく過ごせる地域をつくりたい。	①運動会 重度心身障害児30名（兄弟家族100名）8月予定。赤羽体育館（予定）リレー、玉入れ、綱引きなど。家族一丸となり地域との交流もはかる。デイサービスからも10名くらい参加予定。 ②広報活動障害者マーク 英語の缶バッジ100個・ステッカー100個。新たに「私お手伝いできます」サポートマークの作成。キーホルダー（44mm・57mm各600個）区内ヘルパー会社訪問介護事業部、大学生（看護科、保育科）にて配布予定。手伝いたいのに言えない現状を改善するため。 ③音楽会「アンサンブルドルチェ」 北とびあ飛鳥ホール。バルーンで会場を装飾。見て楽しい綿あめ、歯科界、医療界の方による飲み込みやすさに配慮したケーキをぜひ経験させたい。北区ニュースで参加者募集。 ④英語劇 劇団「call」北とびあカナリアホール 子供向けの劇で重度の子どもたちも楽しめる。他障害センターでも公演を行っている。1月予定 ⑤勉強会 歯科衛生士による摂食指導（PT理学療法士、OT作業療法士、ST言語療法士、看護師も参加）北区ニュースで募集。北とびあ和室。親子で参加し子どもの病気について話し、一番抱えている悩みを話し解決していく。	500,000
121	30	9	草木染から知る自然の力	東京都北区環境教育を進める会	講座参加者には、自然に触れることにより、自然の営みと大切さを知り、地域の貴重な自然環境の保全意識啓発を行う。そして地域への愛着を醸成する。	(1)草木染教室 赤羽緑道公園環境課施設を拠点に、親子20組40名を対象として日曜日の午前中3時間程度、公園内で栽培した藍、ベニバナ等による草木染体験講座を3回実施する。平成29年度は、主に草木染の基本を学んだが、30年度は参加者の創意工夫を生かした作品作りに重点をおき自然の力を実感する。 (2)夏休み自然教室 赤羽自然観察公園内で、夏休期間中親子20組40名を対象として植物・昆虫観察会を3回開催する。植物観察では、植物標本や葉脈作り（草木染による染色）等を、昆虫観察ではセミの羽化、鳴く虫の観察等をテーマを決めて実施する。 (3)北区環境展 環境展開催校（区立としま若葉小学校）の児童を対象に午前中出前授業を行う。午後は、校庭で来場者100人程度を対象として藍染め体験を行う。 (4)印刷物作成・配布 事業の実施記録を印刷物として、配布することにより事業の体験を参加者だけのものとせず区民と共有する。 A4版、16頁程度、4色刷り、500部 配布先：小中学校、地域振興室、図書館等	500,000
122	31	1	赤羽自然観察公園内水田を主に活用した食育事業	赤羽自然観察公園 ボランティアの会いなほクラブ	自然と人間とが真に触れ合える公園づくりを図る目的の中で水田の耕作を体験してもらい、地域住民の方や近隣の小学校に稲・米を通じて人間として生きる力を育んでもらう。（食育）	・区民田んぼの体験農業…場所：田んぼ 参加予定者数のべ300人（全5回） ・もちつき納会…場所：赤羽自然観察公園内炊事棟周辺 参加予定者数120名（11月下旬開催予定） ・赤羽台西小学校体験授業…場所：田んぼ及び学校 参加予定者数のべ小学生200名保護者50名（全5回） ・桐ヶ丘郷小学校体験授業…場所 田んぼ及び学校 参加予定者数のべ小学生350名保護者50名（全5回） ※区民田んぼの体験農業は①田植え②草取り③防鳥ネット張り（かかし作り）④稲刈り⑤脱穀の全5回の予定です。	199,000
123	31	2	青空アート遊び ワークショップ編	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	誰でも行ける公園で、造形やペイントといったアートを「あそび」として楽しむ場所を提供する。 この活動を通じて子供は自由に表現する喜びを知り、大人は子供とのコミュニケーション方法を学ぶ。	本事業では、幼児とその保護者を主な対象として、公園で子どもたちがアートを楽しめる場を提供する。 前年度の経験から、屋外で実施することは周りが汚れても気にならず、開放的に活動できるというメリットがあった。また、幼児がのびのびと活動できるよう保護者をサポートする環境を整えた。このサポートは活動の手助けだけではなく、子どもの自由な表現を受け止め、声掛けすることも含んでいる。 31年度は参加者同士が繋がる仕掛けとして、参加者みんなで一つの作品に取り組む活動や参加者同士で作品を見せあうことを意識的に取り組む。また、アート通信を作成しえ保護者に配布し、子どものアートの見守り方についてはっきりと伝えていく。 各回で子どもの創作活動や遊びに詳しい講師を依頼し、屋内や自宅では実現しにくいアイディアに富んだ活動を目指している。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
124	31	3	がん患者と家族のための居場所づくりと情報提供	王子がん哲学外来	がん患者と家族が抱える問題を地域の課題として共有し、解決するために必要な地域のネットワークを当該事業を通じて形成すること。	がん哲学外来は、順天堂大学の樋野興夫教授が2008年にはじめた活動で、がん患者と家族の心のケアのための対話の場である。この活動はメディカルカフェという形で全国にひろがっており、患者や家族だけでなく地域の医療や介護の関係者など立場の違う人たちが集い、安心して不安や悩みを話せる場を提供している。北区においてもこの活動は地域住民にとって必要と思われる。 ●毎月1回メディカルカフェを北とぴあで開催(9月と12月を除く)参加人数10～15名 ●王子のメディカルカフェ5周年記念行事を北とぴあで9月に開催 参加予定人数70名(講演会を行い、啓発のための資料を配布) ●地域の関係者による新しいネットワークを構築する ●活動周知のためのパンフレット等の作成と配布(社会福祉協議会、医療機関、地域包括支援センターなどに送付) ●がんの専門性を有する市民団体からの情報収集やフォーラムなどに参加して情報交換をする。 ●地域住民にむけてがんについての情報発信をする。	200,000
125	31	4	音楽を活用した健康・認知症カフェの定期開催事業	元気deおわん猫	1. 認知症カフェの定期的開催の継続と、認知症への理解促進と交流の場として新たな企画の整備。 2. 地域で安心して生活ができるよう、現在行っている歌会・居場所カフェの継続により、さらに多くの高齢者の交流の場となる。	認知症カフェ「おわん猫の和」の定期的開催 目的:住み慣れた地域で元気で楽しみながら暮らせるような場の提供。 実施日時:毎月第3火曜日に滝野川はくちょう高齢者あんしんセンターの協力を得て開催 対象:認知症の方およびそのご家族 場所:滝野川文化センター3階の視聴覚室 参加人数:認知症の方と家族を含め20名程度 2. 元気deおわん猫の定期開催 目的:高齢者のひきこもり・孤立予防 実施日時:毎月第2火曜日13:30～16:00 場所:滝野川文化センターの3階視聴覚室 参加人数:20名程度 対象:歌の好きな方 3. 認知症カフェの普及啓発 ボランティア団体構成員と地域住民に向けた認知症の方への支援についての普及啓発活動 4. 出張演奏 区内の高齢者施設、社協や地域包括支援センター主催のサロンなどへの出張演奏を引き続き行う。	200,000
126	31	5	区内のディスレクシア(学習障害)で悩んでいる方々への支援事業	音訳グループやまびこ	学習障害のある児童たちの、特に文字を読むことが困難な児童たちにマルチメディアデイジー(読んでいる箇所の色が変わって文字と音が連動して認識される電子図書)を使って支援する。 また北区にも最新の電子書籍を活用してこんなことができる組織があることを知ってもらう。	技術革新が進み、音声にテキスト、画像をシンクロ(同期)させ、読むことに困難を感じる学習障害等の助けになることが評価されている、マルチメディアデイジー図書を作製して障害を持っているお子さんやその親御さん方を支援する。 やまびこはすでにデイジー版という音声CDを作製して北区の視覚障害者の支援をしており、対面音訳は毎月20人(主に大人)ほどの方が利用している。そこでもう一歩進んで、 ①音声と視覚に訴えるマルチメディアデイジー図書作製のソフト購入と、その作製者育成のための研修を行う。 ②最初に何冊か幼児向け、児童向けの本をマルチメディアデイジー図書として作製し、社協の「おちゃのこ祭祭」に参加して支援活動の普及を図る。 ③7月の中央図書館で開催される「子どもの本のつどいin Kitaku」に参加して本好き児童の育成、学習障害改善の支援活動の普及を図る。出来上がったCDは図書館に寄贈して貸出対象とする。 ④年間の目標電子図書作製枚数を初年度は10～20冊とする。	200,000
127	31	6	依存症女性の子育て支援事業	特定非営利活動法人ダルク女性ハウス	ストレス社会の中で増加の一途をたどる依存症。中でも貧困、DV、PTSD、うつ、虐待など多くの社会的な問題を抱える依存症女性の回復と社会復帰、自立を支援する。 特に、親である女性と、幼い時から親との離別や施設入所など様々な問題を抱えた子どもとの関係を築くための養育支援を行う。	①親子ふれあいプログラムの開催 (親子クッキング・アートプログラム) 毎月第三土曜日の11時～15時 親子で参加し、料理を作ったり遊んだりすることで、親子のコミュニケーションの回復を図る。そのうちの数回はアートプログラムや小児科医を交えての相談会を実施する。滝野川会館、新町コミュニティアリーナ等の区内公共施設で開催。 ②子どもの学習支援プログラム 子どものプログラムの一環として、学習支援、特に夏休みの学習支援を中心にを行う。7～8月に計2回滝野川会館で開催。 ③予防啓発セミナーの開催 依存症女性の支援についてワークショップを2019年秋に北とぴあで開催予定。定員100名、参加費無料とし、講師は外部講師を依頼する。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
128	31	7	誰もが、いきいきと輝ける北区を目指して！～多様性(ダイバーシティ)社会の実現に向けて～	RainbowTokyo 北区	東京都北区で、多様性社会の推進において、性的指向および性自認における困難を抱える性的少数者への理解を通じて、北区の男女共同参画および、多様性社会の推進について考える。 男女だけでない、性の多様性への理解を通じ、多様性を尊重した人権意識の啓発と、区民の社会参画促進のための支援、地域の発展に貢献する。	■講座(ワークショップ含む)事業 テーマ「LGBT(性的少数者)と多様性社会について」 五輪憲章の掲げる理念やビジョンを通じ、多様性社会(ダイバーシティ)の推進において、性的指向や性自認において困難を抱える性的少数者の行きづらさや困難などへの理解を広げ、人権意識の啓発を行う。 ・区民を対象に、性的指向や性自認において困難を抱える性的少数者のテーマについて学ぶ講座を実施する。様々な属性や価値観の多様性について知識の深い講師を招き、参加者ととともに意見交換を行う。身近にある多様性について考え、北区において多様性社会への理解と、多様な個性に対する人権意識の啓発を行う。 社会的にマイノリティを抱える人に対する偏見や差別をなくし、参加者と相互理解を図るワークショップも合わせて行う。参加費は無料。申込については性的少数者の参加も想定し、プライバシー等(名前など)に配慮を行う。	200,000
129	31	8	草木染から知る自然の力(その3)	東京都北区環境教育を進める会	講座参加者には、自然の営みに触れることにより、自然の大切さを知り、地域の貴重な自然環境の保全意識啓発を行う。そして地域への愛着を醸成する。	(1)草木染教室・植物観察教室 親子20組40名を対象として日曜日の午前中、公園内で栽培した藍、ペニバナ等による草木染体験講座や植物観察を実施する。後日参加者には染めた生地を使つての作品作り教室を開催する。6月、7月、9月、10月の4回 (2)環境学習支援者講習 草木染教室指導(染め方から楽しみ方まで)の基礎を学ぶ。また赤羽自然観察公園等で、昆虫・草木等の調査や、自然環境の基盤となる土壌の役割と大切さを学ぶ。地域寺子屋や児童館等のスタッフにも参加を促し裾野を広げる。 5月、6月、10月、11月の4回 各回20名 (3)北区環境展(10月頃) 環境展開催校(区立としま若葉小学校)の児童を対象に午前中出前授業を行う。午後は、校庭で来場者100人程度を対象として藍染め体験を行う。 (4)印刷物作成・配布 事業の実施記録を印刷物として、配布することにより事業の体験を参加者だけのものとせず区民と共有する。 A4版、16頁程度、4色刷り、500部 配布先:小中学校、ボランティアふらざ、図書館等 募集方法:北区ニュース、ボランティア通信等	500,000
130	31	9	大災害から、「いのちを守る@体験型防災Live」in北区	一般社団法人いのちを守るatプロジェクトJAPAN	大災害、発災その瞬間、自身の大事ないのちを守り、守ったいのちで大切な人、愛する人のいのちを守るために具体的にどうしたらいいのか、地域の方々と共に学び、備えるための気づきと学びの場を可能な限りたくさん作っていきたい	【大災害から、「いのちを守る@体験型防災Live」in北区】 内容:防災クッキング～災害直後の備蓄食の調理と試食をやってみる～ ①対象:地域の方々(ファミリー、シニア、子ども)300名 ②実施場所:区内の公民館、幼稚園、避難場所等の屋内 ③実施回数:30名×10回×120分を予定。 ④参加費:5,000円/団体 プログラム概要:私たちの街で発災 その瞬間生き残るためには？ ①防災3ポイントレッスン What 私たちの街に潜むリスクは？(15分) ②防災備蓄食の調理(火不要の加熱セットを使用)&試食。4人のチームに分かれて協力して全員が自らの手で調理、そして「食べる」を実践する。 災害発生直後に焦点を絞り、ガス漏れの危険のある中での非常時の食を確保する具体的な術を身に付ける。 ③防災3アイテム(非常用調理セット、体温コントロール用サバイバルシート、待ったなしの非常用トイレ)を使ってみる。	500,000
131	31	10	知的障害者チアリーディングの啓発と活動継続のための事業	東京都北区知的障害者チアリーディングクラブ	知的障害児(者)でもチアリーディングを楽しめることを北区民に知ってもらうことで活動を広げていき、メンバーを増やして長く安定した活動をしていくことを目的とする。	①活動啓発告知のためのイベント参加 地域のイベント(区民まつり、おちゃのこ祭祭等)に参加し、活動の啓発や告知活動を広く周知すると共に広く参加者を募る。 ②定期練習の開催 毎月2回隔週金曜日の練習を行い、チアリーディングを学ぶ。また、学校や職場以外の仲間との交流を楽しむ場とする。 ③指導者育成講座の開催 現在は知的障害者にチアリーディングを教えられる指導者は一人しかいないため、知的障害者にチアリーディングを指導する指導者を育成する講座を開催する。専門の外部講師に講座を依頼する。 ④外部団体主催の大会への参加及び当団体での大会開催 外部大会に積極的に参加し、知的障害者チアリーディングの存在を知ってもらう。さらに当団体で独自の知的障害者に特化した参加することに意義があるような大会を開催する。そこは、誰もが輝ける場所とし、参加者には努力の成果としてメダルなどを授与する。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
132	31	11	北区ジェンダー平等社会啓発事業	NPO法人ジェンダーイコール	①パートナー間における家事育児負担の偏りの改善 ②ワークライフバランスの向上 ③自立意識の育成	【家庭内の家事分担におけるジェンダーギャップ解消事業】 ■ターゲット: 共働き子育て世帯 ■事業内容: 日本における共働き夫婦の家事育児分担比率は「夫10% 妻90%」の家庭が最も多いという結果が出ている。この状況は日本のジェンダーギャップを助長させる大きな要因の一つになっていると思われる。当団体ではパートナー間の家事育児分担の偏りを見直すことを目的として、現状の分担比率を可視化するツール「ハッピーシェアボード」を開発した。家庭内のタスクを一度すべて洗い出すことで下記の3つの効果を提供する。 ①現状の家事分担率の認識 ②やりすぎ家事の認識 ③名もなき家事の認識 ベットボトルのはがすなどの「名もなき家事」を可視化することで、相手にその家事の存在を知ってもらえる。 このツールの実施によって、パートナー間の家事育児分担を改善するきっかけを提供し、家庭内ジェンダーギャップの解消につなげる。 ■普及方法: ①スペースゆうでのワークショップの開催 1回あたり10～15組のカップルに参加してもらいツールを実施。参加者の感想や有効性をサイトやチラシに掲載しさらに普及を促進。5月頃からチラシ配布、北区ニュース掲載により参加者募集、全3回開催。 ②ジェンダーギャップ改善啓発ハンドブックの配布ジェンダーギャップ改善を狙った啓発ハンドブックを制作し区民に配布。5月から制作着手、9月頃から配布開始。手配りのほか、スペースゆう、保育所、幼稚園、児童館、学童クラブ、わくわくひろば、小学校等に冊子を設置予定。	500,000
133	2	1	北区夏休み子ども農業体験	子ども達の居場所づくり実行委員会	家庭環境に課題のある子ども達は、自己肯定感が低いという課題があります。 その課題解決に向け下記①～③の目的で事業を行います。 ①子ども達の思い出をつくるため ②子ども達が体験活動を通じて自己肯定感を得る ③大人達と触れ合うことで多様な価値観を知る	◆参加者申込み 北区社会福祉協議会が関わる学習支援教室、北区子ども食堂ネットワーク(2020年1月現在29団体)の子ども食堂、区内フリースクールの運営者にご協力いただき、必要な対象者へ案内チラシを配布。 (定員:25名、対象:北区内園児～高校3年生男女) ■体験活動前(予定) 説明会&ワークショップを開催。これまでは参加者とその保護者に、電話やメールで確認を取り、当日を迎えていた。今回事前に参加者同士や事業実施者と顔の見える関係性をつくる日を設ける。 【日時】2020年7月4日(土)15:00-16:30 【会場】赤羽会館第一和室 【内容】団体紹介・自己紹介、昨年の体験映像紹介、アイスブレイク(参加者自己紹介含む)、体験活動の中でやりたいことや〇〇リーダーの決定) 【目的】顔の見える関係を築く 事業実施者である我々と参加者・保護者が顔の見える関係とし、子ども達に安心感をつくる。 ■体験活動当日(予定) 【日時】2020年8月8日(土)7:00～18:00 【会場】千葉県大網白里市農家および白里海岸 【内容】行きのバス内でのアイスブレイク、苗付けや収穫といった農業体験、収穫した野菜でのバーベキュー、その他子ども達がやりたいことの実現や〇〇リーダーの実施(挨拶リーダー、料理リーダー、点呼リーダーなどなど)、帰りのバス内での体験活動の振り返り 【引率】12名予定 子ども達の居場所づくり実行委員会メンバー、学生ボランティア 【目的】自己肯定感を高める チャレンジの姿勢から成功体験、大人達からのポジティブな声掛けや自分という喜び大人達を観て、自己肯定感を高める。 ■体験活動後 「北区夏休み子ども農業体験」の子ども達の様子を映像に編集し、保護者や子ども達と繋がりのある大人達(北社協、子ども食堂運営者、フリースクール運営者)に配布。 【目的】自己肯定感を高める チャレンジの姿勢から成功体験、大人達からのポジティブな声掛けや自分という喜び大人達を観て、自己肯定感を高める。 ■体験活動後 「北区夏休み子ども農業体験」の子ども達の様子を映像に編集し、保護者や子ども達と繋がりのある大人達(北社協、子ども食堂運営者、フリースクール運営者)に配布。	197,548
134	2	2	青空アート遊び ファシリテーション編	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	誰でも行ける公園で、造形やペイントといったアートを「あそび」として楽しむ場を提供する。 この活動を通して子どもは自由に表現する喜びを知り、大人は子どもとのコミュニケーションの方法を学ぶ。	本事業では、幼児とその保護者を主な対象として、公園で子どもたちがアートを楽しめる場を提供する。これまでの経験から、屋外で実施することは、周りが汚れても気にならず、開放的に活動できるというメリットがあった。 また、子どもの創作活動やあそびに詳しい講師を依頼することで、屋内や自宅では実現しにくいアイディアに富んだ活動ができた。 令和2年度は、この活動をより広げるため、中央図書館北側の公園(旧いなり公園)での定期開催のほか、他地域の公園で「出張青空アートあそび」を行う。その際には、地域に住む親子が参加しやすいよう、児童館や子どもセンターに協力を呼びかける(王子東児童館や西が丘子どもセンター、栄町子どもセンター等検討中)。 また、児童館等職員にアートあそびの手法を知ってもらい、子どもの自由な表現を受け止め、声かけすることで、幼児がのびのびと活動できることを伝える。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
135	2	3	区内の読む事に困難を感じている方々やディスレクシアの子ども達への支援活動及びその周知広報活動	音訳グループやまびこ	区内の学習障がいのある児童たちのためのマルチメディアデジの作製や、視覚障がい者など読むことが困難な方々のためにデジ製作や対面音訳又プライベートな読むことへの依頼に対する支援などの内容を必要としている方々へ活動内容をもっと知ってもらう。	障害を持っているお子さんやその親御さん方をマルチメディアデジ図書を作製して支援をする。又、やまびこは既にデジ版という音声CDを作製して北区の視覚障がい者の支援をしている。また対面音訳は毎月延20人ほどの方が利用している。今後高齢になっての読むことに障害が出る方々も増える。その方々への周知広報活動。 ① 社協主催の6月の「おちゃのこ祭祭」に参加してMMDのみならず本来の視覚障がい者の方々へも支援活動や図書館利用方などの普及を図る。 ② 7月の中央図書館で開催される「子どもの本のつどいin Kitaku」に参加して本好き児童の育成、学習障がい改善の支援活動の普及を図る。出来上がったODは勿論図書館に所蔵して貸出対象としてゆく。 ③ 年間を通じてMMDの制作を行う。特に夏休みの読書感想文の宿題に合わせて利用できるように内容を吟味して制作してゆく。	200,000
136	2	4	依存症女性の子育て支援事業	特定非営利活動法人 ダルク女性ハウス	ストレス社会の中で増加の一途をたどる依存症。中でも貧困、DV、PTSD、うつ、虐待など多くの社会的な問題を抱える依存症女性の回復と社会復帰、自立を支援する。 特に、親である女性と、幼い時から親との離別や施設入所など様々な問題を抱えた子どもとの関係を築くための養育支援を行う。	① 親子ふれあいプログラムの開催(親子クッキング) 毎月第三土曜日の11時～15時親子で参加し、料理を作ったり遊んだりすることで親子のコミュニケーションの回復をはかる。そのうちの数回はスポーツプログラムや小児科医を交えての勉強会を実施する 滝野川会館、新町コミュニティアリーナ等の区内公共施設で開催。 ② 子どもの学習支援プログラム 子どもプログラムの一環として、学習支援、特に夏休みの学習支援を中心にを行う。7～8月に計2回滝野川会館で開催。 ③ 予防啓発セミナーの開催 依存症女性の支援についてワークショップを2020年秋にに北とびあで開催予定。 定員100名、参加費無料とし、講師は外部講師を依頼する。	200,000
137	2	5	地域のイベントの取材を行い、SNSで公開し、地域づくりに貢献する事業	特定非営利活動法人 うきま.jp	東京都北区の公式行事やイベント情報を収集し、インターネットを通じて広報する事業を行い、動画撮影や写真撮影による取材を行いインターネットで公開する。 北区が住みやすい街であることを宣伝し、子育て世帯やファミリー層にイベントのお知らせをSNSに公開し、集客に協力する。 また、楽しい事や嬉しい事を共有する。さらに、地域づくりに貢献できるサイトを目指す。	① 浮間の伝統行事の取材や地域のイベント、町会、商店会、青少年、氷川神社、都立浮間公園、赤羽消防署、学校関係の行事等の情報を収集し、取材の許可を得て、動画やスライドショーに編集して、SNSで公開する。(年間65回～70回位の取材を行う。) ② ツイッターでイベントの告知を行い、参加者募集に協力する。 ③ チラシを作成し、公的機関(児童館・保育園・幼稚園・地域振興室等)においてもらう。また、イベントで配布する。 ④ 毎月のニュースをまとめ公開する。	500,000
138	2	6	ストリートピアノによる多世代交流促進事業	北区ストリートピアノ実行委員会	無料で誰でも聴け、誰でも弾ける自由参加型音楽イベントであるストリートピアノを開催することで、高齢化率が高く少子化傾向にある北区において、多世代交流および交流人口の拡大を促し、文化的で豊かな暮らしを実感できるシビックプライドの醸成を図る。	通りがかった人が演奏し、たまたま楽器を持って通りがかった人が演奏に加わり、それをまた通りがかった人が足を止めて聴く。演奏する人同士と聴く人同士、そこに会話が生まれる。ストリートピアノとは、音楽を通じて人と人のつながりを生み出すといった趣旨を込めて設置され、昨年日本各地にその広がりを見せているイギリス発祥の活動である。週末など日にち限定で、商店街や寺社の境内などの公共空間にアコースティック・ピアノを設置しイベントを開催する。 ●赤羽スズラン通り商店街振興組合の協力のもと、赤羽Lalaガーデンの一角などを会場とし、「赤羽ストリートピアノ」を年2回開催予定。イベント開催時には、北区住民に対して広報を利用した告知を行うほか、地域住民へのポスター掲示による告知、SNSの活用により広く区外のストリートピアノ奏者やYouTuberに向けて情報発信を行い、参加者を募る。 ●同様に浄土宗天王山淵富院正光寺にて開催予定の「宿場町まるしえ」(株式会社岩淵家守舎主催)と連携して、「岩淵パブリックピアノ」(寺ピアノ)を開催予定(年2回開催予定)。また、正光寺との間で設置場所やスケジュール等の調整がつけば常設化も検討している。	463,707
139	2	7	大災害から、「いのちを守る@体験型防災Live」in北区 Part2	一般社団法人いのちを守るatプロジェクトJAPAN	大災害、発災その瞬間、自身の大事ないのちを守り、守りたいのちで大切な人、愛する人のいのちを守るために、具体的にどうしたらよいのか。地域の方々と共に学び、備えるための気づきと学びの場を可能な限り、沢山作ってまいりたい。 今回は特にファミリー向けの研修内容を親子で学んでもらいたい。	①対象:地域の方々(ファミリー、シニア、子供)合計300名 ② 実施場所: 区内の商店街の一角など家族が集まりそうな場所にも声がけする。その他、公民館、幼稚園、避難場所等 ③ 実施回数: 30名×10回×120分を実施予定。参加費5,000円/団体 【内容A】防災劇場～防災マジックショー&Kids防災リスクサバイゲーム。 ① 防災劇場とは子供、家族向けに楽しみながら、いのちの大切さを学ぶマジックショーを取り入れ、子どもから大人まで幅広い年齢の方に、防災について興味を持っていただける、新感覚の防災マジックショーです。2011年から実施してきた実績があります。 ② 防災クッキング(キッズ編子供だけでもできる”食べる”に挑戦！) ③ 防災リスクサバイゲームと言う防災脳内訓練を通して具体的なスチエーションで子供だけでも、如何に生き抜くかを体験します。 【内容B】子育てママの体験型防災セミナー～子供と一緒に生き抜くために 【内容C】防災クッキング～災害直後の備蓄食の調理と試食をやってみる ★各希望の団体にあったA～Cのメニューを選んで実施する。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
140	2	8	誰もが、いきいきと輝ける北区を目指して！ ～多様性を尊重する共生社会づくり～	Rainbow Tokyo 北区	東京都北区で、多様性社会の実現に向けて、性の多様性を尊重した人権意識の啓発を行い、性自認及び性的指向に関して困難を抱える当事者の方々の心情を理解し、一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、誰もがあらゆる分野に社会参画できる地域づくりと発展を目指す。	●上映会＋トークイベント(1回) 区民を対象に、LGBT等、性的指向や性自認において困難を抱える当事者を描いたテーマの上映会を行い、性の多様性についての人権意識の啓発を行う。扱う映画の内容は「LGBT(性的少数者)・同性婚」のテーマを扱う。米国最大の州、カリフォルニア州での同性婚裁判を追ったドキュメンタリー映画『ジェンダー・マリアージュ』を上映予定(112分/アメリカ/英語/2014年)。 またその後、当事者や知見のあるゲスト(講師)を招きトークイベントを実施する。参加費は無料。多様性の象徴であるレインボー(虹色)をあしらった缶バッジなどオリジナルグッズを制作し参加者に無償配布する。 ●セミナー・講座(2回) 区民を対象に、LGBT等、SOGI(性的指向・性自認)に関するテーマを扱ったセミナー・講座を実施する。当事者または、性の多様性について知見の深い講師・ゲスト等を招き講座を行い人権問題について関心を持ってもらい、参加者と相互理解を図るワークショップ等も行うことを検討する。参加費は無料。 申込みについてはSOGI(性自認-性的指向)の観点から、セクシュアリティや、プライバシー等に配慮する。	500,000
141	2	9	知的障害者チアリーディングの啓発と活動継続のための事業	東京都北区知的障害者チアリーディングクラブ	知的障害児(者)でもチアリーディングを楽しめることを北区民に知ってもらうことで活動を広げていき、メンバーを増やして長く安定した活動をしていくことを目的とする。	①活動啓発告知の為のイベント参加 地域のイベント(区民まつり、おちゃのご祭祭、等)に参加し活動の啓発や告知活動を広く周知するとともに参加者を募る。 ②定期練習の開催 毎月2回隔週金曜日の練習を行い、チアリーディングを学ぶ。また、学校や、職場以外の仲間との交流を楽しむ場とする。 ③指導者育成講座の開催 現在は知的障害者にチアリーディングを教えらえる指導者は数人しかいないため、知的障害者にチアリーディングを指導する指導者を育成する講座を開催する。専門の外部講師に講座を依頼する。 ④外部団体大会の参加 外部大会に積極的に参加し、知的障害者チアリーディングの存在を知ってもらう。 ⑤自主発表会の開催 年に1回1年の成果を認め合う自主発表会を開催する。参加者には努力の成果として記念品などを授与する。 ⑥体験会の開催 体験会を開催することで、より多くの知的障害者への参加の機会を作り、メンバーの募集に努める。	500,000
142	2	10	北区岩淵町における「宿場町まるしえ」運営事業	宿場町まるしえ実行委員会	岩淵町内において人が集まる機会をつくることで、世代を超えた住民間の交流を促し、地域住民の暮らしを豊かにすること。 そして積極的な情報発信を通じて、そんな北区の暮らしの魅力を発信すること。	①宿場町まるしえの開催 岩淵町がかつて宿場町だったことにちなみ、「来ると旅に出たくなる」がコンセプトのマルシェを開催。 年4回を予定しており、うち1度は北区花火会と同日開催予定。 岩淵町にある陶芸教室作の陶器の販売や近隣のケーキ屋さんなど地元からの出店に加えて、メンバーが各地で知り合った商店も出店することで、多くの地域住民が集まり、世代間交流が生まれることを狙いとする。 ②マルシェ内でワークショップの開催 マルシェでは店舗の出店のみでなく、ワークショップも開催予定。ワークショップは屋台づくりDIYを初め、パン作りやお菓子づくり、リース作りを予定している。より参加者同士で会話時間の取れる場の提供を目指す。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
143		3 1	北区夏休みこども農業体験	一般社団法人 SHOIN	下記①～③の目的で事業を行います。 ①全ての子ども達が夏休みに思い出をつくる。 ②子ども達が非日常の体験活動を通じて自己肯定感を得る。 ③新たな大人達と触れ合うことで多様な価値観を知る。	◇参加者申込み 我々が運営することも食堂あゆみやフードパントリーらら利用者の他、北区社会福祉協議会、北区子ども食堂ネットワーク、北区フードパントリーネットワーク、北区子ども・若者応援ネットワーク、区内フリースクール運営者にご協力いただき、チラシを配布していただきます。誰でも参加ではなく、必要な子ども達に参加してもらいます。(定員:30名、対象:北区内園児～高校3年生男女) ◇体験活動前 参加者が安心して参加してもらえるよう、引率者自己紹介・農業体験説明をYouTubeを活用して動画配信します。 ◇体験活動当日 【日時】2021年8月1日(日)8:00～16:00 【会場】練馬区農家(練馬区田柄1-3-11)・光が丘公園 【内容】苗付けや収穫といった農業体験を実施し、収穫した野菜はお土産として持ち帰っていただきます。また当日参加した子ども達の様子を観察し、1人1人に「感謝状」を配布していきます。 【引率】12名予定、一般社団法人SHOIN理事、学生ボランティア 【コロナ対策】コロナ禍のため都内で農家を営む方にお世話になります。密を避け、マイクロバス2台(レンタカーの他に理事所有の物)で移動します。昨年まで実施していたBBQは中止し、農家さんの野菜を使ったカレーを用意して食べてもらいます。 ◇体験活動後 体験の映像を編集し、保護者や参加者と繋がりのある大人達へ、活動報告とYouTube限定公開(URLを知る方のみが視聴可能)をお渡しします。確認していただき、子ども達に声掛けしていただければと思っています。	200,000
144		3 2	依存症女性の子育て支援事業	特定非営利活動法人 ダルク女性ハウス	ストレス社会の中で増加の一途をたどる依存症。中でも貧困、DV、PTSD、うつ、虐待など多くの社会的な問題を抱える依存症女性の回復と社会復帰、自立を支援する。 特に、親である女性と、幼い時から親との離別や施設入所など様々な問題を抱えた子どもとの関係を築くための養育支援を行う。	①親子ふれあいプログラムの開催(子プロ) 毎月第3 土曜日の13時～16時親子で参加し、工作やアートプログラムを通じて親子のコミュニケーションの回復をはかる。滝野川会館、新町コミュニティアリーナ等の区内公共施設で開催。新型コロナウイルスの状況に応じ、会場とオンラインでつなぎ在宅で参加ができる。 ②子育て中の依存症女性だけのミーティング開催(ママクロ) 毎月第4木曜日の13時～15時に開催。オンラインでつなぎ在宅でも参加できる。5月スクールソーシャルワーカーと相談会、7月と1月に小児科医とオンライン勉強会を行う。 ③子どもの学習支援プログラム 夏休み宿題の学習支援を中心にオンラインで行う。 ④予防啓発セミナーの開催 依存症女性の支援についてオンラインセミナーを11月に開催予定。 Zoomウェビナーで参加費無料とし、講師は外部講師を依頼する。	200,000
145		3 3	SNSを通して北区のイメージアップにつながる動画作成及び公開	特定非営利活動法人 うきま.jp	北区の好感度の上昇のため、観光に役立てるよう、イベントやお勧めの店の紹介動画を作成し、集客に協力する。北区内の公共施設・交通の利便性をクローズアップし、北区を紹介できる動画をたくさん作成し、最終的にイメージアップにつながる事を目的としています。	①飛鳥山博物館に大河ドラマ館ができるため、観光に協力するため、イベントの取材や王子近辺のお店を取材しYouTubeで公開する。 ②学校行事等で保護者が入れない場合の撮影の協力を行い、保護者がネットで見られるようYouTubeで限定公開をする。 (限定公開は、そのアドレスをしっている方しか、見られない) 昨年は、小学校の運動会で保護者が見られない徒競走を学年ごと撮影し、そのアドレスを学校から保護者に連絡して見られるよう協力した(開会式1・各学年の徒競走3・閉会式1合計5個の動画ファイルを提供した) ③チラシを作成し、紹介動画を作成したお店においてもらう。また、イベントで配布する。 ④ 毎月のニュースをまとめ公開する。 ⑤ 北区内の公共施設の紹介動画やお店の紹介動画を作成し公開する。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
146		3 4	大災害から、「いのちを守る@体験型防災Live」 in北区 Part3	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクト JAPAN	大災害、発災その瞬間、自身の大事ないのちを守り、守ったいのちで大切な人、愛する人のいのちを守るために、具体的にどうしたらよいのか、地域の方々と共に学び、備えるための気づきと学びの場を可能な限り、沢山作ってまいりたい。尚、今年度は、特にZoom等を活用したネット経由の体験型リモート防災セミナーを実施して参ります。	大災害から、「いのちを守る@体験型防災Live」 in北区 長びく「コロナ禍の中にあっても、いのちを守る術を、学ぶために！」 リモート防災クッキング～災害直後の備蓄食の調理と試食をやってみる。 対称：地域の方々（ファミリー、シニア、子供）目標約300名 ①実施方法：参加者様にはご自宅、職場などからも参加して頂けるリモートセミナーを実施します。使用する教材は、事前に参加予約者様に郵送いたします。 ②実施回数：30名x10回x120分を実施予定。参加費5.000円/団体 【プログラム概要】 コロナ禍、今、私たちの街で発災その瞬間生き残るためには？ ①防災3ポイントレッスンWhat私たちの身近に潜むリスクは？（15分）、 ② 防災備蓄食の調理（火不要の加熱セットを使用）&試食、個食を自らの手で調理、そして、「食べる」を実践する。災害発生直後に焦点を絞り、ガス漏れ、感染症の危険のある中で非常時の食を確保する具体的な術を身に着ける。 ③ 防災3アイテム（非常用調理セット、体温コントロール用サバイバルシート、待ったなしの非常用トイレ）を使ってみる。 尚、新型コロナウイルスの感染状況により、対面型セミナーも合わせて実施していきたい。	500,000
147		3 5	ひよこママのオンライン相談（産前・産後ママのオンライン相談）	一般社団法人 はあとほっと	産前（妊娠期）産後0か月～4か月までの母親を対象に、助産師や子育て支援アドバイザー等とインターネットを活用したオンライン相談を開催することにより、育児不安や産後うつ状態の軽減を図ることができる機会を提供する。	・インターネット（ZOOM）を活用したオンライン産前・産後支援個別相談 月1回の開催 2時間 1人30分程度 1日計4名（有料） 予約制で行い、助産師や子育て支援アドバイザーによる産前・産後ケアの相談 具体的には、助産師による妊娠中の過ごし方、お産の準備、乳房相談、乳児の発育状況や体の様子、授乳の状況、母親の精神的状況（疲れていないか、眠れているか、表情など）、生活の様子を評価し、適切なアドバイスをする。また、子育てアドバイザーからは、0か月～4か月の心の発育や遊び方、地域の育児にかかわる社会資源の紹介、育児以外の相談機関の情報提供、例えばWケアで介護相談をしたい場合など、相談内容によって地域の社会資源に結びつける。 ・インターネット（ZOOM）を活用したオンライン産前・産後講座・交流会 月1回の開催 2時間 産前産後に関係するテーマの講座と参加者による交流会を実施する。 1回10名程度（有料） ・相談者に対して、抱き方などの具体的な方法をオンラインで見せるために、首座りしていない新生児のモデル人形を購入したい。	500,000
148		3 6	産後女性の筋力回復と啓発、疾病予防事業	一般社団法人 日本産後ダイエット協会	「産後の筋力ケアに特化」「産後のオンラインケア」という新しい産後ケアスタイルを全国に先駆けてスタートし、時代や環境に合った産後ケアを提供できるまちづくりをする。	背景：産後の筋力低下は著しい。特に切迫早産による長期入院者のそれは退院時に自力歩行ができなくなるほど。この筋力低下は産後鬱、更年期に脱肛、脱腸、骨粗鬆症ほか疾病の原因となるが、これをケアする場所や助言する公の場は、入院中退院後の健診含めてどこにもない。 ① 筋力回復と運動能力改善のためのサロン活動 90分制 3部構成 産後の身体と疾病・ダイエット講座30分 エクササイズ45分 悩み相談会15分 （講座例）産後の身体、授乳や抱っこ姿勢、尿漏れ、食事、睡眠など8テーマをサイクルする。 ② オンライン産後セルフケアトレーニング60分制 ストレッチ、ヨガ、体幹トレーニングをZOOMで開催 ③ 青空ヨガ開催 浮間公園で年3回、ソーシャルディスタンスで開催 ④ 外部講師によるオンライン講座 管理栄養士による、妊産婦の食事指導。オンライン料理講座等 ⑤ 医療従事者によるオンライン講座（協会員） 縮小開催となっているパパママ学級を補完する講座を開催。 （例）沐浴指導、授乳指導、新米パパママ先輩パパママ交流会	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
149		3 7	北区岩淵町における「宿場町まるしえ」関連催事運営事業	宿場町まるしえ実行委員会	岩淵町内において人が集まる機会・場をつくり、世代を超えた住民間の交流を促し、「北区岩淵町での暮らし」の魅力を訴求することで、地域住民の暮らしを豊かにすること。 そして積極的な情報発信を通じて、そんな北区の暮らしの魅力を外部にも発信していくこと。	1 宿場町まるしえの開催 岩淵町がかつて宿場町だったことにちなみ、「来ると旅に出たくなる」がコンセプトのマルシェを開催。 コロナ禍の影響と継続開催を見据え、屋内開催や会場分散開催を想定している。 岩淵町にある陶芸教室作の陶器の販売や近隣のケーキ屋さんなど地元からの出店に加えて、メンバーが各地で知り合った商店も出店することで、地域住民にとっても魅力的なコンテンツ・出店者が集まり、そこから世代間交流が生まれることを狙いとする。 2 クラフトビール試飲会+ブチマルシェの開催 特に1のような大型マルシェの開催が社会状況等により難しい場合、これまでのマルシェの出店者と共同開発しているクラフトビールの試飲会+ブチマルシェの小規模開催を検討している。ものづくりの場に地域住民も携わることで、より地域愛が深まり、また会話が生まれる機会を作れるのではと思っている。 なお、会場は以下の2箇所を想定している。分散開催、ないしどちらかでの開催を想定 1、正光寺→2020年に開催実績あり(キッチンカー3-5台、屋台8店舗程度収容可能) 2、いさみや洋装の空き倉庫→岩淵町内にあり、オーナーから会場利用の相談を受けている	500,000
150		3 8	ゲーム・スマホ・ネット依存から子どもを守る	NPO法人 青少年健康力サポートラボ・ジャパン	区民が「ゲーム・スマホ・ネット依存から子どもを守る」基礎知識を講演で学び、具体的解決につながる「ライフスキル教育」を体験する。これらの活動をととして、親や子どもを支援する体制を構築する。	① 研修講演会開催 ゲーム・スマホ・ネット依存(行動嗜癖)についての有識者、研究者は現在限定的である。久里浜医療センターの専門医を招聘したい。 会場は北とびあ(飛鳥H・土曜日午後開催予定) ② 「ライフスキル教育」ワークショップ開催 ・募集30名 年5回開催 土曜日半日 北とびあ等で開催 ・サポートアドバイザー認定書授与 ワークショップ計5回(全日参加者へ授与)	460,000
151		4 1	北区夏休みこども農業体験	一般社団法人 SHOIN	下記①～③の目的で事業を行います。 ①全ての子ども達が夏休みに思い出をつくる。 ②子ども達が非日常の体験活動を通じて自己肯定感を得る。 ③新たな大人達と触れ合うことで多様な価値観を知る。	◇参加者申込み 我々が運営することも食堂あゆみやフードパントリーらら利用者の他、北区社会福祉協議会、北区子ども食堂ネットワーク、北区フードパントリーネットワーク、北区子ども・若者応援ネットワーク、区内フリースクール運営者にご協力いただき、チラシを配布していただきます。誰でも参加ではなく、必要な子ども達に参加してもらいます。(定員:30名、対象:北区内園児～高校3年生男女) ◇体験活動前 参加者が安心して参加してもらえるよう、引率者自己紹介・農業体験説明をYouTubeを活用して動画配信します。 ■体験活動当日 【日時】2022年7月31日(日)7:00～18:00 【会場】千葉県大網白里市農家および白里海岸 【内容】行きのバス内でのアイスブレイク、苗付けや収穫といった農業体験、収穫した野菜でのバーベキュー、また当日参加した子ども達の様子を観察し、1人1人に「感謝状」を配布していきます。帰りのバス内での体験活動の振り返り 【引率】13名 一般社団法人SHOIN5名、学生ボランティア8名 【コロナ対策】その時の社会状況に応じて対応していきます。密を避け、マイクロバス2台で移動します。蔓延防止等重点措置の際は都内の吉田農場(練馬区)、緊急事態宣言中は三鷹オーガニック農園への会場変更も検討します。 ◇体験活動後 体験の映像を編集し、保護者や参加者と繋がりのある大人達へ、活動報告とYouTube限定公開(URLを知る方のみが視聴可能)をお渡しします。確認していただき、子ども達に声掛けしていただければと思っています。	200,000
152		4 3	中高生演劇サマースクール2022	中高生演劇サマースクール実行委員会	中高生が演劇ワークショップを通して学生同士の交流を深め、人と関わる喜びや他者を尊重する大切さを体験することを目的とする。	① 演劇ワークショップ「1dayコース」の開催 演劇界で活躍する演出家を外部講師として招き、1回3時間×3クラス行う。身体を動かしたり、台本に書いている台詞を言ってみたりしながら、中高生同士が自己表現を行い、コミュニケーションを行う。 ② 演劇ワークショップ「集中コース」の開催 6日間のうち、前半3日間のワークショップで作品作りを、後半3日間で一般公開の発表の場を設ける。ワークショップでは中高生が実際に経験してきた思い出や想像、中高生同士のディスカッションによって作品を作っていく。演劇における照明や音響、舞台美術などの仕込みも、安全を考慮しながら中高生たちに体験してもらう。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
153	4	6	-みる・しる・かたる-さくらシアターラボ	北とぴあ演劇祭実行委員会	北区の抱える問題や特性を市民と共に調査、研究し作品作り(公演)を行う。 演劇作品として擬似体験する事により、想像だけでなく、実際にその状況に陥った時の予行演習にもなる他、講演後にはセットを解放し、観客の方にも擬似体験してもらい、演劇を通して防災への意識を高めてもらう。	「水害」をテーマとし、北とぴあ演劇祭の会期中の関連企画公演として実施。 ① フィールドワークやレクレーションの実施。 参加者と専門家が、水害の起こりうる場所(河川敷や危険区域)をフィールドワーク。参加者で問題や課題を見つけ、ディスカッションなどを重ねて演劇作品を作成。 ② 舞台公演の実施 フィールドワーク、ディスカッションを経て演劇作品を上演。 避難所となりうる場所を会場にし、舞台美術も避難所として上演。 ③ 舞台終演後による専門家とのフォーラム 公演終了後(公演中の一回のみ)に専門家を招き、フォーラムを開催。参加者と観客で専門家の意見を聞き、北区の水害への取り組みや問題について話し合い、意見交換する場を作る。 ④ 避難生活の擬似体験 毎公演後、舞台を解放し、セットである避難所を観客にも体験してもらう。	200,000
154	4	8	わかちあい北区 彩り豊かな子育てコミュニティ	特定非営利活動法人 彩結び	産前産後の母親の孤立化を防ぎ、居場所探しをしているママたちのコミュニティ作りを行うこと。	対象:北区近隣にお住いのママやプレママ及び未就園児を持つママ 活動内容:「産前産後のママ仲間と話そう」と題したりフレッシュ交流会 各回テーマを決めて講師を呼び、ママとこどもにとって有益な情報を得られたり、一緒に楽しめる活動を盛り込む。 ＜2021年度の例＞ ～赤ちゃんのおもちゃ選び、絵本選び編～ お茶を飲みながら元幼稚園教諭に月齢別に喜ぶおもちゃや遊び、絵本などを教えてもらいました。 活動場所: ・いろむすびcafe(赤羽駅より徒歩10分の地域コミュニティカフェ) ・リノア北赤羽つながるば.(北赤羽駅より徒歩3分。子育て世代の多いマンションの共用部。) 頻度:上記施設で月に各1回(5月より開始、8月12月は長期休暇の為開催無し 合計18回) 定員:6～8名(イベントや社会情勢により変動あり) 参加費:1000円+別途イベント内容によっては材料費徴収あり 広報方法:当団体各種媒体・北区ニュースに掲載(2021年度実績あり)	200,000
155	4	2	産後女性の筋力回復と啓発、疾病予防事業	一般社団法人 日本産後ダイエット協会	「産後の筋力ケアに特化」「産後のオンラインケア」という新しい産後ケアスタイルを全国に先駆けてスタートし、時代や環境に合った産後ケアを提供できるまちづくりをする。	背景:産後の筋力低下は著しい。特に切迫早産による長期入院者のそれは退院時に自力歩行ができなくなるほど。この筋力低下は産後鬱、更年期に脱肛、脱腸、骨粗鬆症ほか疾病の原因となるが、これをケアする場所や助言する公の場は、入院中退院後の健診含めてどこにもない。 ① 筋力回復と運動能力改善のためのサロン活動 90分制 (水曜日)赤羽／(金曜日)志茂 3部構成 産後の身体と疾病・ダイエット講座30分 エクササイズ45分 悩み相談会15分 (講座例)産後の身体、授乳や抱っこ姿勢、尿漏れ、食事、睡眠など8テーマをサイクルする。 ② オンライン産後セルフケアトレーニング 30分制(無料) ストレッチ、ヨガ、体幹トレーニングをZOOMで開催 ③ 青空ヨガ開催(無料) 浮間公園で年3回、ソーシャルディスタンスで開催 ④ 外部講師による講座 管理栄養士、助産師、保健師、薬剤師によるママ向け健康講座	500,000
156	4	5	渋沢栄一「無心庵」再興プロジェクト～次世代ワールドワークショップ	渋沢栄一無心庵再興プロジェクト準備室	渋沢栄一の精神を次世代へ繋ぐため、茶室「無心庵」再興をテーマに事業を企画。拠り所となる文化サロンとして地域の活性化を図り北区から世界へ日本文化と渋沢栄一の精神を発信する。	1. 渋沢栄一の精神を学ぶ～渋沢久栄氏講演と茶会 渋沢栄一の妹ていの子孫である渋沢久栄氏より渋沢栄一の精神やその思考を学ぶ。続いて学んだばかりのおもてなしを実践するために「無心庵」茶会を開催。 2. 次世代へ繋ぐ「無心庵」ワークショップ～中央工学校+フランス学園茶室「無心庵」をテーマに茶室が果たしてきた役割や価値について学び、無心庵の復元模型を造る。 3. 「無心庵」を世界へ～VR映像で繋がるワールドオンライン茶会 無心庵の360°映像を制作してオンライン上でのワールド初釜茶会を開催。区内の学生・社会人と、New York、Paris、Buenos Aires、Brisbane、Shanghai、Ugandaなど中心に五大大陸の世界と新年を祝いオンラインで繋ぐ！	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
157	4	6	青少年の薬物乱用防止	NPO法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン	区民が「薬物乱用の実態」への理解を深め、様々な対応の仕方について学ぶ場を提供する。薬物乱用防止教育で重要である一次予防の方策として「ライフスキル」を体験する場を設け、その普及啓発を図る。	① 青少年薬物乱用防止の指導者向けテキスト作成(プログラム構築) ② 青少年薬物乱用防止シンポジウムを開催する。メインシンポジストは精神科医を招聘。他のシンポジストは本会理事で薬物乱用防止テキスト作成委員が担当する。シンポジウムでは制作テキストを資料として活用する。 ③ 「ライフスキル」ワークショップ開催する。 1.基礎編(15人)・コミュニケーションスキル・意思決定・広告分析等(8月・全日) 2.応用編(15人)・セルフエスティーム(秘密の友達)・コラージュ・ストレス対処スキル他(10月・全日) 2回参加者にはサポートアドバイザー認定書授与。 1回参加者には参加証授与。 参加費1回3,000円。	500,000
158	5	1	つながろう つなげよう ぽっぽコンサート	ねこの手	近年、地域において「人と人との繋がりが薄くなっている」と言われている中、誰でもが気軽に行かれる場(ふれあい館等)での無料の楽しいコンサートを開催することで、地域の人が集まるキッカケを作り、顔見知りを増やし、その後に繋がる交流や親睦を図ることを目的とする。	誰でもが気軽に行かれる場(ふれあい館等)での無料コンサートを開催。 夏にプロミュージシャン、秋に地域の音楽グループが出演。各回、親子向けと、大人向けの2部入替制とし、感染対策を考慮しながら、地域の人が集まるキッカケを作り、顔見知りを増やし、その後に繋がる交流や親睦を図ることを目的とする。	200,000
159	5	2	さくらんぼの赤ちゃん食堂	さくらんぼ食堂	離乳食が始まり、何かと悩み多い保護者むけに実施。子どもには離乳食、保護者には軽食を提供。親子で集まり、離乳食づくりのヒントを伝え、アドバイザーを交えて悩み解消につなげる。	孤立しがちな育児の応援をするために、ひとりじゃないことを実感してもらう「赤ちゃん食堂」を開催。 離乳食づくりのコツや実際に食べてもらってヒントを得てもらう。助産師や保健師、栄養士など専門家の立場からのアドバイスをもらって元気に明日につなげてもらう。	200,000
160	5	3	北区ポール de ウォーク 楽校の開設と高齢者リーダーの養成	一般社団法人ポールdeウォーク推進協議会	北区の高齢者が、ポールdeウォークの実践を通して、支えられケアされるのではなく自ら健康づくりの主役になり、地域の人たちと楽しく活動して健康寿命を延伸する。	①北区ポールdeウォーク楽校の開設 王子、赤羽、滝野川各地区において毎月1回ポールdeウォーク楽校を開催、公認指導員のもとに講義と実技を実施。 ②北区ポールdeウォークリーダー養成講座の開催 9月と12月より専門講師の下、各毎月2回、3ヶ月間計6回の北区ポールdeウォークリーダー養成講座を区内施設で開催。	500,000
161	6	1	地域シルバー世代のスマホ使いこなし支援	スマサポ	高齢者施設等からの依頼を受けて、初心者向けスマートフォン講座を請け負う等のボランティア活動を通じて、シルバー世代のITリテラシーの向上により地域全体の情報格差が減少することを目的している。	①初心者スマートフォン講座の請負い 初めて学ぶアプリや操作でも、利用するシーンがイメージできるような具体的な事例を伝え、実習は基本的にマンツーマン形式で行い、受講生が安心して学べるサポートに徹した指導を行う。 ②初心者向けスマートフォン相談会の請負い準備 シルバー世代の操作の躓きは、様々なため、相談会が有効であると思われる。同じく高齢者施設、自治会、シニアクラブとも協議しながら、相談会の請負を探っていく。下期より月一回程度を目標に検討を進める。 ③新たな教材の開発会議の開催 講座、相談会などを通じて得られるニーズに応えるため、毎月定例会議を開催し、新たな教材を作成する。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
162	6	2	つながろう つなげよう ぽっぽコンサート2024	ねこの手	誰でもが気軽に行かれる近くの会場で、地域の観客や演奏者、スタッフも皆で楽しめるコンサートを開催する。開催時のみならず過程も含め、地域の人々が顔見知りを増やし、交流や親睦を深めていくことを目的とする。	①「つながろうつなげようぽっぽコンサート2024」の開催 東田端ふれあい館や新町コミュニティアリーナなど地域の会場を確保し、プロの演奏者や地域の音楽グループなどが演奏するコンサートを開催する。年度の前半にプロの演奏者に依頼し。後半には「令和5年度地域づくり応援団事業つながろうつなげようぽっぽコンサート」の実施によりつながった個人やグループ・団体にも出演や協力を依頼する。 ②ボランティアスタッフや演奏者、音楽グループと共に内容等を検討する運営に参加してくれるボランティアスタッフ(団体や個人)を募り、年間で3回以上はコンサートを実施していく。各回の定員は会場の広さ・出演者の人数、また感染症対策の必要性によって決めるが、60～80人を考えている。 ボランティアスタッフや演奏者、音楽グループと皆でコミュニケーションを取りながら、コンサートの準備を進め、交流・親睦を図っていく。	200,000
163	6	3	さくらんぼの赤ちゃん食堂	さくらんぼ食堂	離乳食が始まり、何かと悩み多い保護者むけに実施。子どもには離乳食、保護者には軽食を提供。親子で集まり、離乳食づくりのヒントを伝え、アドバイザーを交えて悩み解消につなげる。	赤ちゃん食堂の開催 孤立しがちな育児の応援をするために、実施。離乳食が始まったころの赤ちゃんとの二人きりだと気持ちも減入りがち。そんな時に同じような境遇の親子と出会う場の提供、離乳食づくりコツやヒントを体得してもらう。(技術的な育児支援)たまには食事作りから解放されてのんびりと実家に帰ったつもりで食事を食べてもらう。(心理的な育児支援)また、助産師や保健師、栄養士など専門家の立場からアドバイスを貰えるような情報収集のきっかけになるとよいと願う。毎回、離乳食づくりの専門栄養士に同席してもらい疑問や不安なことなどの解消に努める。	200,000
164	6	4	北区ポール de ウォーク楽校の展開と地元高齢者リーダーの活躍	一般社団法人 ポールdeウォーク推進協議会	区内のポールdeウォークリーダーが中心になって、多くの区民がポールdeウォークで区内を歩いて北区の自然と歴史、文化に触れながら健康づくりの主役となり、健康で明るい北区づくりに貢献したい。	①昨年9月に王子、赤羽、滝野川各地区1校(計3校)開校したポールdeウォーク楽校を各地区2校(計6校) 毎月2回開催に拡大する。楽校は単に歩くだけでなく、気軽にいろいろなことを感想や意見を述べ合い話し合える「街中サロン」としての役割を目指す。 ②ポールdeウォーク講演会・体験会を王子、赤羽、滝野川で計3回開催する。 ③ポールdeウォークのリーダー養成講座を開催する 。 月1回×6ヶ月=計6回実施し、受領者には終了証を授与、リーダーとして活躍してもらう。 ④11月に北区民に広く呼びかけて北区ポールdeウォークフェスタを開催する。コースは新札の肖像で話題の渋沢栄一翁のゆかりの場所をたどるものとする。 ⑤懇親会、食事会などの開催及び本事業の目的に資する事業。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
165	6	5	3x3プロバスケットチームで作る「みんながひとつになれる場所」	ASUKAYAMACHERRYBLOSSOMS スポーツまちづくり推進実行委員会	3×3バスケットボールを1つのコンテンツとしたイベント開催をすることによって地域の活性化と共生社会の実現を目指す。	目的:3x3バスケットボールを一つのコンテンツとしたイベント開催をすることによって地域の活性化と共生社会の実現を目指す。 日時:9月中旬～10月上旬 ※雨天時は翌週へ延期 場所:飛鳥山公園にて開催(雨天時は翌週へ延期) 参加予定人数:100人 参加予定団体:公募バスケットチーム(8チームカテゴリー検討中)、福祉事業所団体、キッチンカー、知的障害チアリーディング、車いすバスケット(JKFWBC) 参加対象者:障がいの有無に関わらずどの年代の、誰でも楽しめるイベントを目指す。 ・3x3バスケットボールを1つとして扱い、一般参加チーム(知的障害バスケットを含む)を公募し総当たりで競うイベントを開催する。競技時間の合間には知的障害チアリーディングのパフォーマンスや車いすバスケット体験を行い多様性の理解を深める活動を盛り込んでいく。また、コート周辺には福祉事業所制作物の出店やキッチンカーなどを設置し、誰もが楽しめる『みんながひとつになれる場所』を目指す。	500,000
166	6	6	飛鳥山公園マルシェ+野外映画鑑賞会事業	北区Hack-a-park	北区のランドマークとなる飛鳥山公園を活用としたクリエイティブな公園活用の提案とその情報発信による地域のイメージアップ、また地域の新しいコミュニティの形成の場としたい。	開催場所:飛鳥山公園内 芝生エリア 開催日時:11月上旬 (予定)※雨天時は延期 屋間の時間は北区のクリエイターが中心のチームによるマルシェ(有機野菜・天然蜂蜜・米粉スイーツ・手作りパンの販売、木エプロダクトの展示販売など)やワークショップ(街歩き、子供向け制作など)を開催。映画の上映時間が近づく、ミュージシャンの音楽の生演奏が聞こえてきて、いつもの公園とは違ったワクワクした雰囲気の日日常感を演出します。 日没後に野外映画を上映開始。自由なスタイルで野外映画を楽しみます。 芝生広場に隣接するレストランにも、協力を仰ぎ、連携して盛り上げていきます。	500,000
167	7	1	マーブル育児交流会	北区発達保護者の会マーブル	孤独に陥りがちな支援が必要な子供を持つ保護者に託児付きの自由時間を提供して休息したり、同じ境遇の保護者同士で話したりすることにより、地域でのつながりを作る。	実施日時:令和7年8月から月に1～2回(5～7回) ※事業収支予算は7回 午前2時間(9時半～11時半)と午後3時間(13時半～16時半)を4回ずつ 場所:北とぴあ9階の和室と幼児室 参加予定者:1回につき最大5組の親子 参加対象者:支援が必要な保護者とその子ども(きょうだい児含む) 午前2時間または午後3時間保育士に子どもを預け、同じ悩みを持つ保護者同士や当会の会員と雑談や情報交換をしたりのんびりと過ごして頂くことにより、孤独感の解消や地域での繋がりを作る障害受容の段階によっては要望があれば児童発達支援の話や、支援を受ける方法、当会や北区児童発達支援センターでの保護者の会にもお誘いする。	200,000
168	7	2	不登校のお子さんと家族のための安心・安全な居場所「ココブレ」	cocomori	不登校のお子さんとその家族が、安心して利用できる居場所を提供することで、同じ悩みを持つ大人同士が気軽に話せたり、子どもが学校以外の場で社会との繋がりを楽しく維持できることを目指す	対象者:不登校のお子さん(5歳～18歳)とその保護者 ①オープンデー 月に1回、不登校やまだら登校などのお子さんとその家族のための居場所「ココブレ」(ココモリプレイス)を提供。利用者さんが安心して過ごせる居場所にするため事前予約制にし、カウンセラーと、不登校の親子支援に慣れているサポーターで対応する。ココブレでは、お子さんのニーズに合わせて自由に過ごしてもらい、家族以外の他者と交流し社会と繋がるきっかけにしよう。 ②イベントデー 不定期で、お子さんに日々対応している保護者の方のケアを目的とした企画を開催する。カウンセラーの講話、ピラティス(追加資料②)、ワークショップ等、大人が子どもから離れて自分を大事にする時間を用意し、大人が参加している間は別室でお子さんの過ごせる居場所を用意。お子さん向けの企画に参加したり、自由に過ごしてもらおう。 ③ニーズに合わせた個別対応 ココブレの利用を検討中の、家から出ることが難しいお子さんを対象に、オンラインまたは戸口訪問でカウンセラーと顔合わせをし、初めての場所が苦手なお子さんでも安心してココブレを利用できるよう関係づくりを行う。	200,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
169	7	3	SDGsライフ普及活動事業「明日塾」等の開催	北区リサイクラー活動機構	環境問題を地球規模で捉えつつ、地域で具体的な行動を促進するため、学びと実践の場を提供し、地域住民の環境意識を高め、持続可能な社会の構築を目指す	事業実施予定日 2026年3月14日(開始)~2026年3月14日(終了) 助成事業の内容 実施日時:2026年3月14日(土)13:30~16:00(予定) 場所:北とびあドームホール北区王子1丁目11-1 参加予定者:・100名 本助成事業では、地域住民のSDGsに対する理解促進と行動変容を目的に、以下の3つの企画を実施します。 (企画1)SDGs関連の映画の上映 映画を通じてSDGsの課題を視覚的かつ感動的に伝え、上映後の意見交換で参加者同士の学びを深め、地域全体のSDGs意識向上を目指します。 (企画2) SDGs講演会の開催・ 専門家や実践者による講演を通じて、SDGsに関する知識や行動のヒントを提供し、住民が地域や日常生活でSDGsを実践するきっかけを作ります。 (企画3)明日塾の紹介と勉強会の案内 明日塾の活動を紹介し、勉強会を通じて住民がSDGsについて継続的に学び、行動するための場を提供します。	200,000
170	7	4	地域シルバー世代のスマホ使いこなし支援	スマサポ	高齢者施設等からの依頼を受けて、初心者向けスマートフォン講座を請け負う等のボランティア活動を通じて、シルバー世代のITリテラシーの向上により地域全体の情報格差が減少することを目的としている。	① 初心者向けスマートフォン講座の請負い 初めて学ぶアプリや操作でも、利用するシーンがイメージできるような具体的な事例を伝え、実習は基本的にマンツーマン形式で行い、受講生が安心して学べるサポートに徹した指導をう。きらりあ北、老人いこいの家などの高齢者施設と連携して、月例の無料講座を開催する。 ② 初心者向けスマートフォン相談会の請負い シルバー世代の操作の躓きは、様々なため、相談会が有効であると思われる。同じく高齢者施設と連携して、月例の無料相談会を開催する。 ③ 新たな教材、ラーニングシステムの開発 講座、相談会などを通じて得られるニーズに応えるべく新たな教材を作成する。また、テキスト記載事例の実際の操作を受講生と共有できるような、より分かり易いラーニングシステムを開発する。	200,000
171	7	5	さくらんぼの赤ちゃん食堂	さくらんぼ食堂	離乳食が始まり、何かと悩み多い保護者むけに実施。子どもには離乳食、保護者には軽食を提供。親子で集まり、離乳食づくりのヒントを伝え、アドバイザーを交えて悩み解消につなげる。	赤ちゃん食堂の開催 孤立しがちな育児の応援をするために、実施。離乳食が始まった頃の赤ちゃんと二人きりだと気持ちも減入りがち。そんな時に同じような境遇の親子と出会う場の提供、離乳食づくりのコツやヒントを体得してもらう。(技術的な育児支援)たまには食事作りから解放されてのんびりと実家に帰ったつもりで食事を食べてもらう。(心理的な育児支援)また、助産師や保健師、栄養士など専門家の立場からのアドバイスをもらえるような情報収集のきっかけになるとよいと願う。毎回、離乳食づくりの専門栄養士に同席してもらい疑問や不安なことなどの解消に努める。	200,000
172	7	6	北区におけるワーキングマザーのワークライフバランス改善支援事業	北区ワーキングマザーサロンBeleza	北区においてワーキングマザーを取り巻く諸問題を把握し、具体的な解決策の提示や、ワーキングマザーの心身の負担軽減を目的とする。	本事業は大別して2つのスタイルで行う。 一つ目は、親子が共に参加する講座である。講座は60分/回で、①②共に、当団体会員が直接支援する。支援サポートとして大学生アルバイト2名を配置する(詳細は以下参照)。 1. 親子参加型講座(6月~7月) ① 親子で楽しめる簡単なマッサージやレクリエーション・あそびを紹介する。 ② サバンナがテーマの絵本の読み聞かせを行い、フィンガーペインティングでイメージを具現化し、その作品の前で、親子ヨガでサバンナの動物になりきる表現遊びを行う。 二つ目は、シッターを手配し託児を行う傍ら、母親の気分転換や自分時間を充実させるための活動である。同時に託児中の子どもが心身をフルに活用して楽しめるプログラムも行う。半日単位(午前の部、午後の部)で実施する(詳細は以下参照)。 2. 託児付きで親子が別々に活動を行うイベント(8月~12月) ① 母親:ヨガやレクリエーションの講座、困り感の共有のための座談会 ② 託児中の子ども:フィンガーペインティング、英語で体操あそび、レクリエーション等 また、インスタグラム等のアカウントを開設し、これらの活動や成果についての情報発信を随時行う。	500,000

地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

NO	年度	No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額
173	7	7	The PICNIC(飛鳥山公園マルシェ+野外映画観賞会事業)	北区Hack-a-park	北区のランドマークとなる飛鳥山公園を活用としたクリエイティブな公園活用の提案とその情報発信による地域のイメージアップ、また地域の新しいコミュニティの形成の場としたい。	開催場所: 飛鳥山公園内 芝生エリア 開催日時: 11月2日(日) 11:00~16:00 マルシェ 15:00~17:30 音楽生演奏 17:30~19:00 野外映画上映会 ※雨天中止 ※日没後上映開始 昼間の時間は北区のクリエイターが中心のチームによるマルシェ(軽食・弁当・スイーツの販売、雑貨・プロダクトで遺品の展示販売など)やワークショップ(親子で楽しめる制作など)を開催。 映画の上映時間が近づくと、ミュージシャンの音楽の生演奏が聞こえてきて、いつもの公園とは違ったワクワクした雰囲気の日日常感を演出します。 日没後に野外映画を上映開始。自由なスタイルで野外映画を楽しみます。 芝生広場に隣接するレストランにも、協力を仰ぎ、連携して盛り上げていけたら良いと考えています。	500,000
174	7	8	北区多文化共生・ホジボジうきまフェスタの開催	北区多文化共生・ホジボジうきまフェスタ実行委員会	日本のインバウンド需要増加のなか、北区でも益々の外国人区民の増加が見込まれます。そんな北区の未来を見据え、『日本人であっても外国人であっても互いに異文化を理解しようと努め、一人ひとりの違いを認め合い、協力し合える豊かなまちを形成する北区多文化共生社会の実現』を目指します。 春ターゲット:北区在住の日本人及び外国人を中心とした、全ての人。	① ホジボジ浮間公園ランウェイ ・国籍、世代、性別等を問わず、各々自由なスタイルで参加いただくファッションショー。 ・プロのトップヘアメイクアップアーティスト率いるヘアメイクチームが参加者のヘアメイクの監修を行います。 ② 各種ステージ ・世界各国のステージ。フラダンス・キッズチアリーディング・ウクライナの服飾文化紹介等のダンスショー。 ③ キッチンカー・世界各国のメニューを取り揃えます。 ④ 物販・ワークショップ・国際色豊かな出店を予定しています。 ⑤ ホジボジガレージ -各国の子どもが共同で運営、子どもがお客様となる多文化交流フリーマーケット。	500,000
175	7	9	ポールdeウォークによる「日本ーシアが輝く健康都市北区」へ	北区ポールdeウォーク推進協議会	超高齢化社会を迎えた現今、高齢者が支えられ、ケアされるのではなく自ら健康づくりの主役になり、いつまでも地域の人たちと楽しく活動できる社会を、ポールdeウォークの実践を通して実現する。	①赤羽会館・北とびあ・滝野川会館での3楽校(赤羽楽校、王子楽校、滝野川楽校)について。 各楽校、年に4回、講演、体験会(初回は無料)を実施する。(年間4回5 x 3楽校=12回) ②新たに新設をめざす、豊島5丁目楽校(団地集会所)、王子5丁目楽校(団地集会所)、浮間楽校(ふれあい館)、滝野川東楽校(滝東ふれあい館)、田端楽校(田端ふれあい館等)について。 順次3か月ごとに集中して、各3回、講演・体験会(初回は無料)を実施する。(3か月に3回X5か所=15回)その間に、実質的にリーダーになっていた方々を発見(または既にリーダー講習を受けた方をリーダーとして派遣し、リーダー(楽校長)を中心に徐々に回数を増やしていく。(第2段階は月2回、第1、第3〇曜日等)スタッフが不足の場合は、北区ポールdeウォーク協会からスタッフを派遣あるいは、当該グループの中からスタッフを募集する。 ③全体として、一は、並行して行う。他の楽校へのスタッフ派遣は必要最小限とし、できる限り当該楽校で、完結させる。保険等の費用をまかなうため、原則として1回500円の会費を徴収する。ポールレンタル代Fは1回300円とする。(ただし、楽校会員の事情により、会費を免除することができる。楽校運営マニュアルを作成し、運営に関しては、協会のサポートのもと、各学校が行う。	500,000